

下島○下田○下妻  
 下藏○下振○下郷  
 下江○下條○下平  
 下瀬○下竹○下關  
 下河原○下飯坂○柴  
 柴田○柴山○柴崎  
 柴間○柴野○柴原  
 柴岡○島○島崎  
 島田○島村○島原  
 島津○島倉○島野  
 島内○島森○島本  
 島根○嶋川○島谷

○金輪際  
 心安立○無心置○無心許○心苦敷○心得違○古往今來  
 ○言語道斷  
 ○事の趣  
 ○難斷  
 ○冀は  
 ○不心任○公明正大○巧言令色○紅塵萬丈

「え」「ゑ」の部

○繪○餌○醉○得手○繪師○繪圖○繪馬○驛○依  
 估○擇り○罇み○笑み○宴○液○延期○遠路  
 榮譽○榮耀○榮枯○榮縁○縁家○縁故

島地○篠○篠田○篠  
 原○篠塚○篠崎○篠  
 部○篠澤○篠郷○篠  
 谷○鹽江○鹽井○鹽  
 川○鹽入○鹽田○鹽  
 原○鹽濱○鹽島○鹽  
 澤○鹽崎○鹽野○鹽  
 野谷○志賀○志立  
 志倉○志筑○志平  
 志佐○志岐○志水  
 志道○志田○志谷  
 志摩○志自岐○庄司

縁起○英智○英語○幼時○會得○繪解○繪本○繪  
 絹○繪取○詠○詠歌○要○要路○要事  
 謁○營利○益○枝葉○銳利○驛路  
 沿路○演じ○餌食○餌付○餌飼○怨しむ○笑顔○選  
 び○艶に○畫工○畫像○援護○影供○回向○獲物  
 ○惠方○罍○嬰兒○映じ○睿智○天し  
 悦喜○嘔脂○偉く○刻り○穎悦○會得  
 怨嗟○延引○延滞○延刻○延命○遠方○遠  
 隔○遠近○遠慮○遠足○遠行○遠國○遠山○遠景  
 ○遠望○遠見○遠征○遠來○遠類○榮華



○庄村 ○庄田 ○庄  
○澁江 ○澁澤 ○澁  
○澁谷 ○澁野井  
○澁田見 ○城倉 ○城  
○城井 ○城取  
○城塚 ○城山 ○城  
○莊 ○莊原 ○莊田  
○莊司 ○莊島 ○芝  
○芝山 ○芝藤 ○芝崎  
○芝間 ○芝小路 ○新庄  
○新莊 ○新橋 ○新川  
○新藤 ○新宮 ○清水

(元 五)

一六八

○榮轉 ○緣付 ○緣談 ○緣組 ○緣者 ○緣邊 ○緣目 ○緣  
○醉臥 ○醉覺 ○永世 ○永代 ○永年 ○永久 ○永遠  
○永續 ○英雄 ○英敏 ○英明 ○英才 ○英斷  
○英名 ○英學 ○英書 ○英文 ○幼年 ○幼君 ○幼少  
○幼女 ○幼學 ○幼名 ○會釋 ○歡感 ○繪草紙 ○詠吟  
○歡覽 ○歡慮 ○歡見 ○調見 ○圓滿 ○圓裂 ○怨望  
○詠草 ○要用 ○要害 ○圓見 ○圓滿 ○圓裂 ○怨望  
○圓形 ○營業 ○營世 ○營繕 ○益友 ○枝振 ○枝差  
○炎天 ○炎暑 ○炎炎 ○銳敏 ○沿革 ○沿革 ○沿革  
○沿道 ○演劇 ○演藝 ○演說 ○演題 ○擇拔 ○擇出 ○擇屑

○清水谷 ○沙路 ○沙  
○見 ○柵 ○柵木 ○昌  
○昌崎 ○重田  
○重信 ○重野 ○重城  
○重松 ○重村 ○繁野  
○繁田 ○周布 ○周田  
○穴戸 ○穴道 ○穴倉  
○信田 ○信夫 ○神宮  
○神保 ○神宮司 ○滋賀  
○滋田 ○滋野 ○滋野  
○井 ○進村 ○進藤 ○鹿  
○倉 ○鹿園 ○鹿野 ○推

(元 五)

○擇分 ○擇取 ○園内 ○園藝 ○園丁 ○園裂 ○怨望  
○袷頸 ○袷先 ○被選 ○艷麗 ○援兵 ○援軍  
○宴席 ○海老色 ○海老茶 ○曳聲 ○窈窕 ○遙拜  
○疫癘 ○支川 ○岐路 ○烟突 ○衛生 ○冤罪 ○宛  
○延見 ○延燒 ○延蔓 ○延蔓 ○延蔓 ○延蔓  
○遠裔 ○蜿蜒 ○延着 ○榮冠 ○榮冠 ○榮冠  
○緣遠 ○醉倒 ○醉潰 ○永住 ○得手 ○得手 ○得手  
○幼稚 ○要領 ○圓滑 ○夷講 ○夷膳 ○炎上 ○炎上  
○妖怪 ○妖術 ○依怙 ○負 ○擇嫌 ○宴會 ○影響  
○謠曲 ○榮爵 ○夷祭 ○會者 ○定離 ○園

一六九



(てて)

野○椎谷○椎橋○司  
馬○斯波○代田○四  
條○七條○尙○靜間  
○正野○品川○茂田  
○首藤○式守○敷村  
○滋光寺○霜田○常  
樂○十文字

ひびび

天文地理  
○日○電○東  
動植物

○羊○沸沸○白狐○  
雲雀○比翼鳥○鴉  
○鴉○雛○暮  
○蛭○晚蟬○火取蟲○  
比目魚○椈○稗○  
檜○蒜○射干○檳榔  
子○白檀○美人草○  
百日紅○枇杷○姫  
百合○鹿尾采  
衣服器財  
○被布○單物○直垂  
○緋衣○緋袴○緋

(てて)

遊會

「て」の部

手○手間○出る○出目○出齒○出來○敵○照り○  
寺○弟子○手足○手頸○手相○手明○手當○手活○  
手打○手水○手置○手落○手織○手重○  
手數○手數○手形○手庇○手負○手書○手利○手並○  
手者○手金○手切○手段○手繰○手柄○手入○手込○  
手業○手頃○手分○手前○手際○手引○手癖○手輕○  
手狭○手拔○手代○手飼○手料○手本○手紙○手許○

一七〇

手先○手下○手作○手製○手透○手品○手勢○手  
出○手段○手玉○手近○手付○手付○手詰○手取○手  
蔓○手捕○手馴○手延○手鼻○手筈○手風○手風○  
○手札○手實○手水○手眞似○天地○天機○天威  
○天赋○天下○天氣○天魔○出臍○出張○出向○出  
口○出際○出掛○出初○出汐○出端○出前○出店○出  
入○出先○出船○出水○傳播○傳問○定期○  
定規○定價○轉じ○轉地○適し○適度○適意○  
○適宜○徹し○徹夜○田家○田圃○田夫  
○停止○泥土○朝儀○朝威○朝野○

一七一



縮緬ちりめん ○緋緞ひだん ○白衣びやく  
 ○組くみ ○襪績わくせき ○雛棚ひなだね  
 雛人形ひなにんぎやう ○筆洗ひつせん ○筆架ひつが  
 ○表具ひょうぐ ○表装ひょうさう ○表札ひょうさつ  
 ○表紙ひょうし ○火鉢ひばち ○火吹ひぶき  
 ○火燧ひろうし ○火吹竹ひぶきたけ  
 ○火燧ひろうし ○火吹竹ひぶきたけ  
 ○屏風びやうぶ ○檜扇ひのあふぎ ○肘金ひぢか  
 ○鑿ひきて ○琵琶ひやうしき ○柝木ひやくぎ  
 ○柄杓ひしゃく ○棺ひつぎ ○杵ひきだし ○抽斗ひつ  
 ○櫃ひつ ○廣蓋ひろふた ○日傘ひがさ  
 苗字  
 ○平井ひらゐ ○平山ひらやま ○平野ひらの

丁稚ていぢ ○調査てうさ ○調和てうわ ○調味てうみ ○調理てうり ○調度てうど  
 調馬てうば ○調子てうし ○電氣でんき ○電話でんわ ○添付てんぷ ○帝都ていと ○呈していし ○條てう  
 理り ○哲理てつり ○父御ていご ○溺死てきし ○程度ていど ○吊してうし ○素手すて ○各かく  
 自じ ○店屋てんや ○諂諛てんゆ ○術てら ○衞みせび ○貼付てうふ ○手筋てのすぢ ○手て  
 平ひら ○手遊てあそび ○手厚てあつ ○手餘てあま ○手荒てあら ○手痛ていた ○手後てのち  
 手堅てがた ○手覺ておぼえ ○手懸てがかり ○手替てがはり ○手車てぐるま ○手應てこたへ ○手合てあはせ ○手違てちがひ  
 手強てつよく ○手心てごころ ○手習てならひ ○手短てしじか ○手酌てしやく ○手續てつづき ○手揃てそろひ ○手配てくばり  
 手助てたすけ ○手障てさばり ○手探てさぐり ○手順てじゆん ○手序てついで ○手作てづくり ○手早てはや ○手者てのもの  
 手摺てつかみ ○手支てつかへ ○手遠てどほく ○手積てつものり ○手傳てつたひ ○手懷てなづけ ○手馴てならし ○手緩てゆる  
 手内てのうち ○手裏てのうら ○手初てはじめ ○手放てはなし ○手控てびかへ ○手廣てひろく ○手枕てまくら ○手招てまね

てで

一七二

○平田ひらた ○平島ひらしま ○平松ひらまつ  
 ○平原ひらばら ○平谷ひらや ○平岡ひらおか  
 ○平尾ひらお ○平塚ひらづか ○平沼ひらぬま  
 ○平賀ひらが ○平内ひらうち ○平光ひらかつ  
 ○平本ひらもと ○平佐ひらさ ○平瀬ひらせ  
 ○平位ひらゐ ○平岩ひらいは ○平石ひらいし  
 ○平林ひらばやし ○平木ひらき ○平部ひらべ  
 ○平澤ひらさ ○平野ひらの ○平野ひらの  
 西にし ○日野口ひのくち ○日野原ひのはら  
 ○日暮ひぐらし ○日村ひむら ○日吉ひよし  
 ○日高ひたか ○日鼻ひばな ○日向ひなた  
 ○日向野ひなたの ○日比ひび ○日ひ

○手廻てまはし ○手解てほどき ○手向てむかひ ○無手てもなく ○手渡てわたし ○手踊てをどり ○手仕事てしごと  
 手道具てだうぐ ○手細工てさいく ○手間取てまどり ○手間賃てまぢん ○手綺麗てきれい ○手土産てみやげ  
 手都合てつがふ ○手不入てのこらぬ ○天恩てんおん ○天顔てんがん ○天裁てんさい  
 天覽てんらん ○天性てんせい ○天質てんしつ ○天恩てんおん ○天顔てんがん ○天裁てんさい  
 天覽てんらん ○天性てんせい ○天質てんしつ ○天恩てんおん ○天顔てんがん ○天裁てんさい  
 天災てんさい ○天然てんねん ○天體てんたい ○天年てんねん ○天運てんぐん ○天涯てんがい ○天てん  
 人にん ○天女てんによ ○天水てんすい ○天明てんめい ○天網てんまう ○天罰てんばつ ○天命てんめい ○天てん  
 嶮けん ○天才てんさい ○天幕てんまく ○天窓てんまど ○天獄羅てんごくら ○出額てびたひ  
 出拂ではらひ ○出迎でむかへ ○出後でのち ○出戻でもどり ○天幕てんまく ○天窓てんまど ○天獄羅てんごくら ○出額てびたひ  
 出稼でかせぎ ○出損でそこね ○出這入ではいり ○出戻でもどり ○天幕てんまく ○天窓てんまど ○天獄羅てんごくら ○出額てびたひ  
 出稼でかせぎ ○出損でそこね ○出這入ではいり ○出戻でもどり ○天幕てんまく ○天窓てんまど ○天獄羅てんごくら ○出額てびたひ  
 事ごと ○出來物できもの ○出來秋できあき ○傳染でんせん ○傳道でんだう ○傳達でんたつ

(二二)

一七三



(てて)

比野○日比谷○東○東川○東尾○東方  
 東村○東園○東久世○廣瀨○廣島  
 廣橋○廣澤○廣木○廣岡○廣部○廣川  
 廣中○廣田○廣久○久田○久貝○久原  
 久間○久重○久島○久野○久松○久永  
 久村○比企○比志島○比留島○比留間

傳來○傳言○傳聞○傳受○傳習○傳寫○定刻○定員  
 定則○定限○定率○定額○敵手○敵對○敵軍  
 敵方○敵彈○敵壘○敵藥○體裁○體好○轉宅○轉校  
 轉居○轉任○轉役○轉轉○轉變○適當○適任  
 適材○適處○適切○適用○徹底○顛末  
 抵抗○抵當○抵廉○抵頭○朝敵○朝陽  
 朝恩○朝夕○丁寧○丁年○鐵腕○鐵色  
 照付○照燒○寺小屋○停滯○泥濘  
 顛覆○照付○照燒○寺小屋○停滯○泥濘  
 鐵道○庭前○庭訓○調停○調合○調劑○調

一七四

(てて)

氷川○氷上○氷室○蛭田○蛭間○肥後  
 肥田○肥田野○木○一柳○彦坂○彦  
 根○彦田○土方○土館○菱川○菱谷○兵  
 庫○兵頭○兵藤○弘田○弘中○檜山  
 檜垣○干谷○干河岸○樋口○樋田○樋脇  
 樋畑○飛田○秀島○人見○雛形○毘野

進達○調達○調印○調法○電信○電報○點檢  
 點心○點滴○電燈○點火○點頭○點  
 茶○貞操○貞節○貞女○添削○添  
 書○的例○纏頭○纏綿○帝王○帝國○條項  
 條目○條例○條約○條件○超過○超越○超  
 摘要○摘發○弟子入○哲學○哲人○訂  
 正○展覽○展開○涕泣○締盟○鼎沸  
 提督○亭主○遞送○堤防○剃髮○鼎沸  
 彫刻○眺望○鳥目○嘲弄○觀面○喋喋  
 癩癩○篆書○篆刻○提携○蹄鐵○砥礪

一七五



(てて)

も

天文地理

○森

動植物

○百舌 ○百千鳥 ○紅

葉鮒 ○紅葉 ○桃 ○木

犀 ○木蓮 ○木樨 ○木

蘭 ○木香 ○木理 ○樅

○海雲 ○蜀 黍 ○

藻鹽草 ○蓬艾 ○糯米

○穀

衣服器財

○裳 ○股引 ○紋紙 ○

木綿 ○縵子 ○紅絹 ○

紋付 ○紋形 ○木魚 ○

尺度 ○元結 ○裁刀 ○

春

○苗字

○森 ○森山 ○森本 ○

森元 ○本下 ○森島 ○

森田 ○森井 ○森泉 ○

森原 ○森村 ○森友 ○

森部 ○森脇 ○森澤 ○

(あ)

一七六

○潮候どき ○調書しよ ○挑戦しよ ○顛倒さか ○輾轉ころ ○

手慰 ○手丈夫 ○手切金 ○手付金 ○手拍子 ○手一杯 ○

手間仕事 ○天聴 ○天領 ○天職 ○天上 ○天誅 ○

天井 ○出放題 ○出來心 ○出來上 ○出來不出來 ○敵味

方 ○敵將 ○為體 ○轉住 ○適中 ○抵觸 ○照合 ○

寺參 ○寺男 ○泥中 ○鐵腸 ○鐵脚 ○鐵面皮 ○的中

○的證 ○呈上 ○無父子 ○殿中 ○提出 ○鄭重 ○

提供 ○出合頭 ○田夫野人 ○鐵石心 ○手持無沙汰 ○天文

第 ○轉地療養 ○徹頭徹尾 ○田樂豆腐 ○停車場 ○

殿上人 ○抵頭平身 ○電光石火

「あ」の部

○有り ○惡 ○跡 ○明け ○明日 ○足 ○雨 ○擧げ ○飽き ○

後 ○逢ひ ○赤 ○仇 ○宛 ○兄 ○編み ○飴 ○青 ○揚 ○垢 ○

泡 ○秋 ○厭き ○汗 ○味 ○穴 ○姉 ○蜜 ○尼 ○海人 ○

餡 ○在り ○嗚呼 ○閑伽 ○灰汁 ○朱 ○吾子 ○安堵 ○

○疝 ○畔 ○豈 ○遇 ○浴 ○安氣 ○安堵 ○

安意 ○安否 ○安危 ○安座 ○安置 ○相手 ○相圖 ○

相子 ○惡徒 ○惡婆 ○惡氣 ○惡事 ○惡意 ○惡魔 ○惡く ○

殿上人 ○抵頭平身 ○電光石火

「あ」の部

○有り ○惡 ○跡 ○明け ○明日 ○足 ○雨 ○擧げ ○飽き ○

後 ○逢ひ ○赤 ○仇 ○宛 ○兄 ○編み ○飴 ○青 ○揚 ○垢 ○

泡 ○秋 ○厭き ○汗 ○味 ○穴 ○姉 ○蜜 ○尼 ○海人 ○

餡 ○在り ○嗚呼 ○閑伽 ○灰汁 ○朱 ○吾子 ○安堵 ○

○疝 ○畔 ○豈 ○遇 ○浴 ○安氣 ○安堵 ○

安意 ○安否 ○安危 ○安座 ○安置 ○相手 ○相圖 ○

相子 ○惡徒 ○惡婆 ○惡氣 ○惡事 ○惡意 ○惡魔 ○惡く ○

一七七



(あ)

森尾○森川○森岡○  
 森江○森津○本木○  
 本杉○本島○本店○  
 本居○本尾○本橋○  
 本吉○本野○本村○  
 盛○盛家○盛岡○盛  
 高○諸井○諸隈○諸  
 根○諸星○諸岡○守  
 守谷○守屋○守家  
 守川○守永○守野  
 守田○守武○守城  
 守安○元山○元島

愛し○愛子○愛顧○案じ○朝寝○朝食○荒く○荒  
 田○荒地○荒野○跡目○暗に○暗記○暗愚○暗場  
 暗夜○預け○明地○明家○明間○足蹴○足場  
 足搔○雨氣○雨間○雨具○雨夜○擧而○擧句  
 浅く○浅手○浅黄○浅瀬○怪し○能く○餘り○  
 洗ひ○遊び○甘く○甘味○後方○後目○押し○當  
 り○當所○當身○當字○逢瀬○厚く○厚着○赤毛○赤  
 子○赤味噌○上り○上旬○熱く○宛名○徒に○徒名  
 合はせ○油○編目○按摩○飴屋○青田○青葉○青毛  
 揚屋○揚場○阿房○阿畔○阿彌陀○奥義○呆れ○厭

元良○元藤○元田  
 元木○元井○茂呂  
 茂川○茂木○茂庭  
 茂原○茂手木○物  
 集○物集女○茂利○  
 茂塚○門地○門奈○  
 門司○百島○百束○  
 百瀬○最上○持田○  
 望月○餅原○樅山○  
 榎山○桃井

せ ぜ

倦○葦間○葦毛○頭○中り○彼處○彼方○姉御○淡  
 間○脂○灸り○許多○文目○粗く○在所○或  
 日○欠○蛙生○崇め○芥○漁り○渾名○價○與へ  
 邊○可惜○暑さ○集め○發さ○周章○哀れ○仰  
 ぎ○溢れ○喘○敢て○晏駕○歩み○主○安  
 樂○安佚○安息○安閑○安寧○安眠○安産○安  
 心○安穩○安全○安靜○安閑○安寧○安眠○安産○  
 安排○相方○相對○相逢○相聲○相娶○相乘○相共○  
 相擊○相生○相濟○相鈍○相弟子○有高○有金○有丈  
 有觸○有體○有付○有様○惡人○惡漢○惡

(あ)



(あ)

天文地理  
 ○世界○泉水○晴天  
 動植物  
 ○鶴○鶴○石竹○  
 ○石葛○石解○梅檀  
 ○芹○紫藤○川芎  
 衣服器財  
 ○海○蟬羽衣○錢  
 ○入○錢箱○青磁○青  
 漆○石筆○石盤○扇  
 子○扇面○脊割○瀨  
 戸物○雪駄○線香○

たう 悪女 悪僧 悪様 悪心 悪念 悪感 悪對ののし  
 悪口 悪習 悪弊 悪風 悪所 悪縁 悪銭  
 愛嬌 愛憎 愛らし 愛翫 愛憐 愛想  
 朝飯 朝立 朝駟 朝酒 朝夕 朝晩 荒立 被荒  
 荒増 荒事 荒果 荒行 荒屋 荒磯 荒  
 波 荒物 荒馬 跡取 跡繼 跡跡 暗算 暗合 暗日 明後日  
 明暮 足早 足音 足摩 足跡 足蹇 足留 足枷 足代  
 雨降 雨雲 雨足 雨水 雨漏 雨落 雨垂 雨避  
 雨衣 雨乞 舉足 淺はか 淺漬 怪火 不  
 能 新たに 新玉 洗粉 欺き 飽足 飽迄 甘垂  
 甘口 甘酒 甘茶 甘干 甘んじ 後足 後先  
 後引 後押 後月 壓倒 壓制 當付 當事  
 逢度 厚皮 赤鹿毛 赤髭 赤恥 上下 上潮  
 仇討 熱爛 宛行 徒言 徒事 徒口 徒波  
 兄上 兄娶 兄弟子 合目 油氣 油畫 編  
 天地 按察 按腹 飴賣 飴色 青青 青  
 海 青空 青物 青涕 揚物 揚餅 揚出 商 商人

一八一

(あ)

蒸籠 千石通 千  
 人前 栓  
 苗字  
 ○關 關守 關本  
 ○關 關尾 關岡  
 ○關 關原 關藤  
 ○關 關野 關屋 關矢  
 ○關 關山 關澤  
 ○千頭 千川 千田  
 ○千野 千崎 千住  
 ○千賀 仙石 仙川  
 ○仙波 瀨尾 瀨崎

雨降 雨雲 雨足 雨水 雨漏 雨落 雨垂 雨避  
 雨衣 雨乞 舉足 淺はか 淺漬 怪火 不  
 能 新たに 新玉 洗粉 欺き 飽足 飽迄 甘垂  
 甘口 甘酒 甘茶 甘干 甘んじ 後足 後先  
 後引 後押 後月 壓倒 壓制 當付 當事  
 逢度 厚皮 赤鹿毛 赤髭 赤恥 上下 上潮  
 仇討 熱爛 宛行 徒言 徒事 徒口 徒波  
 兄上 兄娶 兄弟子 合目 油氣 油畫 編  
 天地 按察 按腹 飴賣 飴色 青青 青  
 海 青空 青物 青涕 揚物 揚餅 揚出 商 商人

一八一



(あ)

瀬島○瀬古○瀬戸○  
瀬川○瀬能○瀬戸岡  
○瀬之口○瀬田口○  
勢多○勢川○勢山○  
勢川○世良○世良田  
○芹生○芹江○芹川  
○芹田○芹澤○妹尾  
○迫田○生源寺

すず

天文地理  
○砂○水邊

○垢染○垢付○垢切○垢拔○泡盛○泡雪○泡立○無奥  
○秋風○秋空○秋晴○厭厭○厭果○嘲り○汗水  
○汗染○他人○味付○中物○扱ひ○穴藏○姉上○姉  
○淡泊○粟立○粟餅○無間○脂手○壺物○尼寺○網  
○打○網結○餡餅○庵主○庵室○操り○無文○粗粗  
○粗方○粗壁○粗塗○粗蔴○或は○或時○或年○或人  
○行脚○鹽梅○絶念○挨拶○生憎○齷齪○蒼  
○醒○曖昧○贖ひ○鮮か○恰も○暖か○東屋○適れ  
○羹○詭へ○侮り○憐み○浮雲○押捺○押柄○遍く○  
危く○過ち○誤り○争ひ○改め○現れ○固安息日○安

一八二

動植物  
○水牛○雀○鈴蟲○  
○水仙○菫○西瓜○  
○菅○菘○蘿○蘿葡  
○蘇枋○慧苡  
衣服器財  
○素袍○水干○裾○  
○硯○硯箱○墨○鈴  
○炭斗○籠○篋○双六  
○盤○膳當○篩斗○地  
○爐○播鉢○播木○鋤

(あ)

住○安直○相互○相性○相語○相尋○相求○相調○相  
勤○相叶○相觸○相別○相渡○相背○相手取○相纏○  
有合○有餘○有限○有來○有の儘○難有○有間敷○  
悪性○悪行○悪逆○悪評○悪名○悪靈○悪病  
○不悪○愛情○愛着○案外○被案○朝朗○朝烟  
○荒男○荒療治○荒行○荒稼○荒仕事○荒亘○暗  
誦○暗中○預置○明渡○明殘○明離○明朝○明年○  
明かに○明放○明取○明盲○足固○足搦○足揃○  
足掛○雨濕○雨上○雨宿○雨晒○雨覆○雨支度○擧用  
る○淺間敷○淺緑○被怪○新敷○餘物○洗物○洗張○

一八三



○居風呂  
○前字  
○杉山○杉浦○杉下  
○杉原○杉崎○杉村  
○杉野○杉谷○杉岡  
○杉田○杉生○杉井  
○杉本○杉島○杉江  
○杉○鈴木○鈴木村  
○鈴置○鈴江○鈴藤  
○鈴川○鈴鹿○鈴木田  
○須田○須藤○須戸  
○須崎○須賀○須方

遊事○遊人○被遊○被欺○飽不足○後退○後備  
後廻○後戻○後仕末○當填○當前○赤栗毛○赤茸毛  
○赤糟毛○赤裸○赤顔○上口○上段○宛擦○合  
詞○油揚○油色○油濃○天下○天降○飴細工○青緑  
青臭く○青黄粉○青二歳○揚豆腐○嘲笑○葦手書  
脂足○炙物○炙出○海小女○許多度○穴賢○穴住ひ○間柄  
と○或所○肋骨○溢出○剩へ○豫め○安倍川餅  
○相伴○相伺○相催○相企○相交○不相變○相  
對盡○相身互○相相傘○相整○相連○惡垂口○愛

(あ)

○須永○須澤○須原  
○末野○末川○末吉  
○末永○末井○末村  
○末岡○末廣○菅  
○菅原○菅井○菅生  
○菅田○菅沼○菅本  
○菅森○菅野○菅澤  
○菅谷○菅波○菅俣  
○住友○住永○住谷  
○住島○住吉○角  
○炭田○炭原○炭  
○鋤岡○鋤柄○訪

別離苦○案の状○如案○案内者○朝朝  
荒荒敷○無跡方○預物○預度○足手纏○足拍子  
雨衣裳○雨装○淺淺敷○新所帯○洗落○洗流  
○遊耽○遊仕事○遊疲○後後迄○後祭○後方付  
○厚ケ間敷○厚化粧○赤亘り○上句の果○熱苦敷○宛  
行扶持○合鏡○天津乙女○商人宿○呆返り○他心  
○他契○扱人○淡淡敷○難有  
涙○愛想盡○案不違○案内状○跡目相續○遊草疲  
難扱○餡掛豆腐○難有迷惑○難有  
人形

(あ)



訪○諏訪部○砂崎○  
砂川○壽藤○壽崎○  
進○栖原○錫谷○  
摺澤○澄川○祐森○

書翰用語

○前文

(一)文頭辭

送文

○拜啓○拜呈○  
○謹啓○肅啓○  
○翰呈上○寸楮

「40」の部

差○差違○差異○差し○才○座位○罪○去  
り○扱○咲○酒○先○財○妻○様○讚○詐欺○際○  
菜○沍え○裂○刺し○坐し○坐視○指し○沙  
汰○里○錆び○覺め○戯れ○提げ○避け○白湯○  
等○差額○差而○差配○殘餘○殘務○  
雜多○雜事○雜務○雜記○雜誌○雜費○雜煮○雜魚寢  
○再度○參賀○參與○存世○在家○算  
し○才子○才氣○才智○座竝○座席○座敷○座右

呈進○尺素拜呈

返文

○拜復○拜答○  
○謹復○謹答○貴  
○墨拜誦○貴札拜  
○閱○華翰拜展○  
○衆雲欣閱○芳翰  
○恭誦○雲翰拜  
受

(二)氣候辭

一月  
○寒氣甚だしく

座禪○座頭○左右○左迄○左而已○左様○左遷  
○左袒○左袒すること○散じ○散布くばる○散步○昨夜  
産し○產地○産婆○産兒たこ○産婦○産氣○産後○産  
穢○細事○細工○細字○逆手○逆兒○逆艦  
○定め○酒手○酒屋○先手○祭祀○祭事○祭資  
○早苗○最後○最期○相思○相違○相場○三都○三府  
○草廬○草紙○察し○妻子○妻拏○歳始  
費○壯夫○壯士○倉庫○造作○作爲  
作事○作業○作場○作意○作法○山路○山氣○山家  
更に○騒ぎ○讚美○賛し○賛否○採否○詐取



(五)

○寒氣堪え難く  
 ○寒威凜烈 ○寒  
 中とは申しなが  
 ら厳しく ○當年  
 の寒さは一きは  
 身にしみ ○年立  
 ち返り候得共  
 寒氣彌相増し  
 ○逐日氣相慕

二月

○餘寒尙去らず

○餘寒堪え難く  
 ○殘寒却て嚴  
 しく ○春寒凌  
 ぎ兼ね ○何時迄  
 も寒氣退き兼ね  
 三月  
 ○春寒不同の  
 候 ○微暖の候 ○  
 春寒相緩み ○  
 暖氣相催し ○  
 昨日の雨にて寒  
 さも薄らぎ ○雨

(五)

一八八

際次を ○些少 ○些細 ○菜圃 ○創意 ○藏し ○葬儀 ○境  
 ○讒し ○讒訴 ○裝置 ○裂目 ○刺身 ○探り ○鎖國 ○鎖港 ○坐像 ○指圖 ○捧げ ○砂糖 ○砂塵 ○砂漠 ○殺意 ○殺氣 ○里子 ○覺り ○然程 ○酸素 ○酸味  
 ○酸鼻 ○流石 ○曩に ○誘ひ ○挫折 ○嗟嘆 ○猜疑  
 ○掃除 ○債務 ○濟度 ○臟腑 ○榮え ○搜し ○肴 ○  
 下り ○叫び ○支へ ○棧敷 ○摩り ○茶道 ○授げ ○臯月 ○  
 諭し ○聰く ○捌き ○障り ○觸り ○荒びれ ○冷し ○瑣  
 末 ○慙愧 ○懺悔 ○分明 ○浚へ ○菜蔬 ○細微

○壯圖 ○廚香 ○曝 ○差寄 ○差込 ○差入 ○差上 ○差置  
 ○差付 ○差詰 ○差繼 ○差添 ○差合 ○差替 ○差引 ○差上  
 ○差足 ○差智恵 ○差金 ○殘品 ○殘物 ○殘金 ○殘額 ○殘  
 飯 ○殘燈 ○殘花 ○殘月 ○殘暑 ○殘雪 ○殘黨 ○殘念 ○  
 殘忍 ○殘酷 ○殘談 ○雜說 ○雜種 ○雜居 ○雜駁 ○雜  
 件 ○雜沓 ○雜報 ○雜貨 ○雜穀 ○雜草 ○雜言 ○雜  
 用 ○雜炊 ○再再 ○再三 ○再應 ○再來 ○再發 ○再舉 ○  
 再勤 ○再任 ○再役 ○再緣 ○再版 ○再犯 ○參堂 ○參籠 ○  
 向 ○參列 ○參候 ○參朝 ○參内 ○參籠

一八九



(ま) (ざ)

三日何となく春  
めき

四月

○清和の候 ○春暖の候 ○春色十分の候 ○寒暖中和の候 ○花紅柳緑の好期

五月

○薄暑の候 ○向暑の節 ○漸く薄暑相催し ○新

一九〇

参宮 ○参詣 ○参拜 ○参考 ○参謀 ○在朝 ○在國 ○在勤  
在任 ○在宅 ○在留 ○在來 ○在所 ○在郷 ○在昔  
在籍 ○算法 ○算筆 ○算入 ○算用 ○算當 ○算段 ○才人  
○才覺 ○才學 ○才物 ○才藝 ○才能 ○才筆 ○才  
取 ○座上 ○座中 ○座興 ○座頭 ○罪人 ○罪科 ○罪  
業 ○去兼 ○去者 ○去迎 ○左官 ○散散 ○散亂 ○散財  
散失 ○散逸 ○散解 ○散策 ○散人  
散切 ○散髮 ○散兵 ○散文 ○散藥 ○昨日 ○昨夕  
昨朝 ○昨今 ○昨秋 ○昨冬 ○昨年 ○産額 ○産物 ○産業  
産科 ○産前 ○産室 ○細細 ○細大 ○細小 ○細密 ○細

緑の候

六月

○晴雨不定の候 ○黄梅の候 ○連日の梅雨 ○梅雨の空晴  
れて俄に暑氣相催し ○孟暑の候

七月

○雨後急に暑氣相募り ○酷暑堪え兼ね ○逐日暑

(ま) (ざ)

一九一

目 ○細別 ○細民 ○細瑾 ○細波 ○細君 ○細末 ○扱  
扱 ○扱又 ○扱早 ○扱置 ○逆らひ ○逆様 ○逆寄 ○逆振  
逆立 ○逆卷 ○逆浪 ○定而 ○咲初 ○咲出 ○咲分 ○酒飲  
酒盛 ○酒代 ○酒藏 ○酒店 ○先先 ○先程 ○先頃 ○先駆  
先乘 ○先供 ○先立 ○先借 ○先觸 ○祭典 ○祭禮 ○祭壇  
祭日 ○祭主 ○祭文 ○早早 ○早且 ○早雪 ○早速  
早急 ○早晚 ○早世 ○早乙女 ○最大 ○最少 ○最  
小 ○最初 ○最近 ○最終 ○最前 ○最愛 ○相談 ○相應 ○相  
當 ○相識 ○相好 ○相傳 ○相續 ○相場師 ○三更 ○三  
秋 ○三冬 ○三伏 ○三才 ○三軍 ○三昧



(まき)

氣相慕り ○炎熱  
堪え難く ○此兩  
三日は取分暑氣  
酷しく

八月

○秋立ち候得共  
未だ暑氣相去ら  
ず ○秋暑殊に  
甚しく ○残暑  
却つて嚴しく ○  
快雨暑を洗ひ  
○朝夕聊か秋氣

相生じ ○朝夕幾  
分の冷氣を覺え

九月

○稍秋色を催  
し ○秋冷の候 ○  
涼風吹衣の候  
○薄冷の砌 ○朝  
夕は暮しよく相  
成 ○冷氣十分に  
相成

十月

○雨後俄に秋色

(さき)

一九二

三徳 ○三復 ○財産 ○財寶 ○財貨 ○財政 ○  
財源 ○草草 ○草庵 ○草案 ○草稿 ○草本 ○草  
書 ○草創 ○草木 ○妻帯 ○歳旦 ○歳末 ○歲月 ○歳歳  
○歳入 ○壯健 ○壯年 ○壯大 ○壯麗 ○倉  
卒 ○災厄 ○災難 ○災害 ○裁縫 ○裁判 ○裁許 ○  
○裁決 ○裁断 ○造作 ○造營 ○造化 ○  
○作人 ○作物 ○作品 ○作料 ○作文 ○作者 ○作  
例 ○山腹 ○山麓 ○山水 ○山靈 ○山莊 ○山海 ○山賊 ○  
山門 ○山妻 ○山嘸 ○山嘸 ○山嘸 ○山嘸 ○山嘸 ○  
○騷動 ○騷亂 ○騷擾 ○遮り ○妨げ ○讚嘆 ○  
○贊成 ○採集 ○採取 ○採用 ○採掘 ○詐稱 ○  
○際限 ○菜園 ○創業 ○創造 ○創作 ○創立  
○藏書 ○藏本 ○蒼海 ○蒼蒼 ○蒼生 ○葬式  
○葬禮 ○葬送 ○境目 ○爭論 ○爭鬪 ○想見 ○  
○想像 ○雙親 ○雙方 ○雙眼 ○讒言 ○讒口 ○  
○讒謗 ○讒者 ○莊園 ○莊嚴 ○索引 ○索  
然 ○錯雜 ○錯綜 ○錯亂 ○朔望 ○朔風 ○  
○朔風 ○坐食 ○指物 ○殺人 ○殺伐 ○殺害 ○里人 ○  
里方 ○里馴 ○里馴 ○里馴 ○里馴 ○里馴 ○里馴 ○  
○慘毒 ○慘酷 ○晒屋 ○猿牽 ○猿智惠 ○戲言 ○

○贊成 ○採集 ○採取 ○採用 ○採掘 ○詐稱 ○  
○際限 ○菜園 ○創業 ○創造 ○創作 ○創立  
○藏書 ○藏本 ○蒼海 ○蒼蒼 ○蒼生 ○葬式  
○葬禮 ○葬送 ○境目 ○爭論 ○爭鬪 ○想見 ○  
○想像 ○雙親 ○雙方 ○雙眼 ○讒言 ○讒口 ○  
○讒謗 ○讒者 ○莊園 ○莊嚴 ○索引 ○索  
然 ○錯雜 ○錯綜 ○錯亂 ○朔望 ○朔風 ○  
○朔風 ○坐食 ○指物 ○殺人 ○殺伐 ○殺害 ○里人 ○  
里方 ○里馴 ○里馴 ○里馴 ○里馴 ○里馴 ○里馴 ○  
○慘毒 ○慘酷 ○晒屋 ○猿牽 ○猿智惠 ○戲言 ○

一九三



(三)

催し○朝夕は肌  
 寒く相成○露吹  
 風も一入に物  
 寒く○換衣の候  
 ○甚冷の砌  
 十一月  
 ○追々寒氣に向  
 ひ○日に増し寒  
 さに向ひ○寒冷  
 相増し○逐日向  
 寒○向寒の候  
 十二月

○嚴寒の候○極  
 寒の時節○甚寒  
 凌ぎ難く○寒中  
 とは申し乍ら昨  
 今の寒さは取分  
 け厳しく○頃日  
 は西北の風身を  
 截るが如く○月  
 迫御多忙  
 (三)起居辭  
 先方の起居  
 △ますます○倍倍

(三)

戲者○冊數○催促○淋敷○材料○彩色○齋戒の○洒掃  
 ○債主○債券○幸ひ○賽錢○豺狼○遭遇○巢窟  
 ○滄桑○喪主○瘡毒○操練○賢敷○盛  
 ○月代○削除○蔑視○私語○流離○宛然○爽  
 ○呻吟○五月雨○斬罪○斬首○蠶業○蠶室○燦爛  
 ○撒水○際涯○財産○採擇○争擾  
 ○愴然○掃蕩○争奪○差出○差押  
 差加○差掛○差當○差迫り○差向○差戻○差控○差支  
 ○差出口○差出者○差藥○差荷ひ○殘虐○再返り  
 ○再會○再來年○再來月○參上○參觀○參着

○參會○參酌○在京○在官○在職○在宿○在住  
 ○在城○在中○算術○算出○算違○才力○才色○罪  
 魁○罪狀○難去○乍去○去程○去狀○無去氣○左  
 の通○如左○散會○昨春○細工人○逆落○被定○定置  
 ○喉掬○喉亂○喉殘○酒浸○酒臭く○先達○先  
 走○先拂○早月閣○早春○最中○最上○三春○三曲  
 三箇日○三盃酢○察入○被察○察上○歲出○壯觀  
 ○倉皇○作病○作略○山頂○騷立○騷敷○被遮  
 ○際會○返返り○返渡り○裝飾○刺殺○刺違○  
 刺通○探足○櫻色○櫻狩○櫻月○櫻煎○櫻餅○櫻



○増増○益益○  
 彌彌○愈愈  
 △おすこやか○御  
 勇健○御壯健○  
 御祥健○御健  
 勝○御健全○御  
 清勝○御清穆○  
 御安泰○御安康  
 ○御平安○御無  
 事○御機嫌善く  
 ○御別條もなく  
 ○御違例もなく

炭○指示し○指物師○捧物○砂糖漬○里離○里歸○鏽  
 落○寒氣立○鞘走り○猿廻○猿轡○猿芝居○悟顔○幸  
 相○債務者○槍術○溯り○策略○挿み○麾さ  
 ○蠶食○殺戮○園左の趣○三三九度○三幅  
 對○造物主○騷廻○騷敷○被妨○互互敷○一昨昨日  
 ○一昨昨年○刺貫○沙汰の限○殺風景○債權者○  
 再三再四○再從弟○再從兄○二千世界○察處○遮  
 莫○奉○察○山海の珍味○齋戒沐浴○  
 三復熟讀てよむこと

○御障りもなく  
 ○御替りもなく  
 △よろこばしい○  
 大慶至極に存じ  
 ○慶賀の至り○  
 欣賀斜ならず○  
 欣拵の至り○恐  
 悦に存じ奉り○  
 頂上之に過ぎ  
 ず  
 自己の起居  
 △ごあんしん○御

「き」「ぎ」の部  
 義○奇○氣味○貴下○貴家○貴意○急○歸依  
 聞く○議し○議事○義氣○義理○義務○義士  
 ○義子○奇異○寄附○疑義○極め○着せ○記し○  
 記事○肝○規模○綺羅○期し○基礎  
 ○消え○利き○喜怒○巍巍○切り○騎馬○  
 騎士○灸○疵○君○浮垢○饑餓○毀譽○  
 暇○休意○氣儘○氣隨○氣風○氣質○氣分○氣立○氣  
 前○氣樂○氣長○氣早○氣重○氣輕○氣兼○氣落○氣



(きぎ)

安心○御安意○  
 御休意○御休神  
 ○御放念○御放  
 懷○御省懷  
 ◎末文  
 文尾辭  
 敬意を表すもの  
 ○恐惶謹白○  
 恐恐謹言○誠  
 恐欽言○敬具○  
 敬白○再拜○肅  
 白○頓首

病○氣鬱○氣張○氣合○氣轉○氣先○氣拔○氣取○氣  
 體○氣配○氣絶○氣息○氣慨○氣候○氣付○貴  
 殿○貴公○貴兄○貴君○貴所○貴顯○貴族○貴  
 様○貴方○貴書○貴札○貴翰○貴墨○貴酬○貴  
 ○貴答○貴台○貴命○貴賤○急務○急場○急  
 急雨○歸宅○歸省○歸國○歸朝○歸帆○歸服○歸  
 化○歸參○近時○謹賀○謹案○議決○議院○  
 議員○議論○吉事○禁止○禁句○禁忌○  
 禁錮○勤務○勤仕○勤惰○勤務○勤勇○義絶  
 義兵○欣喜○欣賀○偽書○偽筆○  
 偽作○偽造○偽物○偽言○偽善○舊師○舊都○  
 舊里○舊家○舊廬○金子○金利○奇人○奇態  
 ○奇妙○奇策○奇計○奇談○奇蹟○奇貨○  
 奇○奇驗○奇瑞○奇遇○奇緣○  
 奇特○御宇○御意○疑心○疑念○疑問○  
 疑惑○疑團○疑理○疑心○疑念○疑問○  
 給仕○客○逆○虚威○巨利○着類○着初○着  
 爲○着付○着馴れ○着替○着丈○記入○記載○記録○  
 記憶○去來○漁夫○機嫌○機密○器

一九八

(きぎ)

文辭の粗末を謝す  
 もの  
 ○不備○不完○  
 不全○不具○不  
 悉○不乙○不盡  
 ○不二○不序○  
 早早以上○勿  
 勿已上  
 ◎雜  
 身上稱呼  
 他人  
 ○閣下○台下○

偽作○偽造○偽物○偽言○偽善○舊師○舊都○  
 舊里○舊家○舊廬○金子○金利○奇人○奇態  
 ○奇妙○奇策○奇計○奇談○奇蹟○奇貨○  
 奇○奇驗○奇瑞○奇遇○奇緣○  
 奇特○御宇○御意○疑心○疑念○疑問○  
 疑惑○疑團○疑理○疑心○疑念○疑問○  
 給仕○客○逆○虚威○巨利○着類○着初○着  
 爲○着付○着馴れ○着替○着丈○記入○記載○記録○  
 記憶○去來○漁夫○機嫌○機密○器

一九九



(きき)

大人たいじん○先生せんせい○高たか  
 台たい○尊君そんくん○尊兄そんけい  
 ○貴君きくん○貴殿きてん○  
 貴兄きけい  
 親類しんぞく  
 ○祖父そふ君きみ様さま○祖  
 母ぼ君きみ様さま  
 ○父ちち上うへ様さま○父  
 君きみ様さま○大人たいじん○母  
 上うへ様さま○母君ぼきみ様さま  
 ○伯お(叔お)父ちち上うへ様さま  
 ○伯お(叔お)父君ちちきみ様さま

用よう○器財きざい○器物きぶつ○祈念きねんののるる○祈誓きせいののりり○祈禱きたう○許可きよか○  
 許多きよた○饑饉ききん○饑寒きかん○規き則そく○規き定てい○規き程てい○吃きつ  
 度と○技藝ぎげい○技能ぎのう○綺麗きれい○希望きぼう○希代きたい○期き日じつ○期き限げん  
 ○期き間かん○危き險けん○危き難なん○危き急きふ○危き篤とく○曲まが○基き  
 金きん○基き本ほん○起き臥ふし○起き居きよ○起き草くさ○起き業げふ○起き原げん  
 ○競きひひ○紀き念ねん○紀き行かう○利き目め○喜き悅えつ○喜き壽じゆ○喜き捨しゃ  
 ○巍き然ぜん○木き口くち○木き遣や○木き小こ屋や○軌き範はん○軌き道だう○切きり  
 目め○切きり身み○切きり火ひ○切きり間ま○切きり目め○騎き兵へい○吟ぎんじじ○吟ぎん味み○忌き  
 明めい○忌き日じち○清きよくく○經きやう○局きよく○棄き捐けん○棄き權けん○距きよ離り○忌き  
 ○龜鑑きかん○杞憂きいう○杞憂きいう○黃き色いろ○黃き粉こな○灸きう治ち○久きう離り

二〇〇

自己

伯お(叔お)母ぼ上うへ様さま  
 ○伯お(叔お)母君ぼきみ様さま  
 ○兄あに上うへ様さま○兄あに君きみ様さま  
 ○大お兄あに○老らう兄あに様さま  
 ○姉あね上うへ様さま○姉あね君きみ様さま  
 様さま  
 自己じこ  
 ○私わたくし○生せい○愚ぐ  
 生せい○小せう生せい○小せう子し  
 ○不ふ肖せう○不ふ似じ○  
 遷う生せい○野や生せい○拙せつ  
 生せい○拙せつ者しや

(きき)

飢渴きかつ○剗き刷かつ○樵夫せうふ○兆せう○刻きみみ○儀ぎ式しき○軋きむむ  
 ○鍛きたへへ○來きたりり○絹きぬ地ぢ○築きつささ○喫きつしし○絆きつ○昨きの日ふ○究きうめめ○  
 踵きび○鬼門きもん○興きやう○淨きよめめ○嫌きらひひ○既き往わう○氣き慨がい○毅ぎ然ぜん  
 ○羈絆きはん○回き休しゆ日じつ○休きう息そく○休きう養やう○休きう戰せん○休きう  
 業げふ○休きう神しん○休きう心しん○氣き安あんめめ○氣き性しやう○氣き色しき○氣き短たん○氣き障しやう○  
 氣き掛か○氣き晴はらしし○氣き散さん○氣き違ちがひひ○氣き紛まれれ○氣き迷まいい○氣き配はい○氣き強きやう○  
 氣き後ご○氣き力りき○氣き丈ぢやう○氣き相さう○氣き入にり○氣き保ほ養やう○氣きのの  
 毒どく○氣き官くわん○貴き重じゆう○急きふ急きふ○急きふ速そく○急きふ便べん○急きふ用よう○急きふ變へん○  
 急きふ難なん○急きふ所しよ○急きふ霰せん○急きふ流りう○急きふ報ほう○歸き郷きやう○歸き  
 京きやう○歸き着ちやく○歸き順じゆん○近きん日じつ○近きん近きん○近きん來らい○近きん年ねん○近きん代だい○

二〇一







伯(叔)母御様 ○ 尊姨 ○ 御兩親様 ○ 御双堂様 ○ 親御様 ○ 御尊父様 ○ 御嚴父様 ○ 尊大人 ○ 尊翁 ○ 尊府 ○ 令父 ○ 令嚴 ○ 令椿 ○ 御母堂様 ○ 親御様 ○ 母御様 ○ 御母公様

御北堂様 ○ 御令兄 ○ 御令伯 ○ 御令兄 ○ 兄御様 ○ 御姉様 ○ 御姉御様 ○ 御令姐 ○ 奥方様 ○ 御家内様 ○ 御内室 ○ 御令室 ○ 御令配 ○ 御令閨 ○ 令夫人 ○ 御内政 ○ 御内方

(き) (ぎ)

二〇四

拜 ○ 九泉 ○ 九原 ○ 巨大 ○ 巨萬 ○ 巨金 ○ 極め ○ 極付 ○ 極込 ○ 極置 ○ 被極 ○ 極致 ○ 極度 ○ 着流 ○ 着舊 ○ 着飾 ○ 去年 ○ 去月 ○ 漁業 ○ 漁獵 ○ 漁村 ○ 煎 ○ 驚怖 ○ 機會 ○ 機關 ○ 器量 ○ 玉座 ○ 玉兎 ○ 祈願 ○ 許容 ○ 許諾 ○ 許問 ○ 許責 ○ 屹立 ○ 舉動 ○ 舉行 ○ 舉手 ○ 技術 ○ 技量 ○ 緊急 ○ 曲馬 ○ 起床 ○ 起請 ○ 競技 ○ 糺明 ○ 糺問 ○ 消入 ○ 消失 ○ 消果 ○ 利腕 ○ 生粹 ○ 生娘 ○ 生藥 ○ 切込 ○ 切入 ○ 切付 ○ 切捨 ○ 切立 ○ 切合 ○ 切取 ○ 切

拔 ○ 切口 ○ 切味 ○ 切疵 ○ 切先 ○ 切賣 ○ 切賃 ○ 切揚 ○ 切替 ○ 切屑 ○ 切端 ○ 切盛 ○ 切張 ○ 切乾 ○ 切髮 ○ 切込 ○ 切端 ○ 切切 ○ 切掛 ○ 際立 ○ 際高 ○ 際物 ○ 際疾 ○ 銀行 ○ 凶事 ○ 凶報 ○ 凶徒 ○ 忌中 ○ 居所 ○ 居室 ○ 居留 ○ 清書 ○ 經師 ○ 魚肉 ○ 魚腹 ○ 魚類 ○ 魚鳥 ○ 煌めき ○ 煌煌 ○ 局部 ○ 胸部 ○ 供し ○ 棄却 ○ 肉 ○ 救助 ○ 幾何學 ○ 菊月 ○ 階段 ○ 如月 ○ 疵付 ○ 穢く ○ 絹織 ○ 嚴敷 ○ 及第 ○ 筋骨 ○ 筋肉 ○ 錦繡 ○ 禽獸 ○ 弓馬 ○ 興味 ○ 兇器 ○ 霧雨 ○ 軋 ○ 軋 ○ 巨濤 ○ 國氣 ○ 氣働 ○ 氣味 ○ 惡敷 ○ 氣丈夫 ○ 急病 ○ 近着 ○ 近況

(き) (ぎ)

二〇五



(き)

御令弟 ○御舎弟 ○弟御様 ○令叔 ○御妹様 ○妹御様 ○御令妹様 ○御婚様 ○令婿 ○御婦子様 ○御婦 ○令婦 ○令嬖 ○御子息 ○御令息 ○貴息 ○賢息 ○令郎 ○御息女 ○御娘子様 ○

近狀 ○聞届 ○聞及 ○聞召 ○聞覺 ○聞出 ○聞合 ○聞傳 ○聞流 ○聞糺 ○聞直 ○聞過 ○聞洩 ○聞忘 ○聞違 ○聞落 ○聞惡 ○聞道 ○謹上 ○謹肅 ○吉祥 ○吉上 ○吉凶 ○禁中 ○狂人 ○狂亂 ○狂體 ○狂奔 ○狂俳 ○狂言 ○金満家 ○金鑛 ○好奇 ○行跡 ○行者 ○行装 ○行幸 ○行啓 ○行列 ○行水 ○行書 ○行年 ○窮迫 ○窮策 ○窮屈 ○窮民 ○恐悅 ○恐察 ○給仕人 ○客人 ○客分 ○客來 ○客殿 ○客僧 ○客月 ○逆心 ○逆賊 ○逆臣 ○逆風 ○虛病 ○虛弱 ○巨魁 ○

(き)

御嬢様 ○御令嬢 ○娘子様 ○令愛 ○御子様方 ○御子供衆 ○御令兒方 ○御孫様 ○御令孫 ○御從兄様 ○御從弟様 ○御從姉様 ○御從妹様 ○甥御様 ○令甥 ○姪御様 ○令姪 ○

極宜 ○無極 ○極點 ○共有 ○共同 ○共益 ○共謀 ○強壯 ○強兵 ○強敵 ○強者 ○驚愕 ○驚歎 ○驚風 ○機關兵 ○玉顔 ○仰天 ○仰山 ○曲乘 ○曲持 ○競争 ○競走 ○競點 ○競賣 ○消殘 ○木遣歌 ○木遣節 ○木賃宿 ○生薬屋 ○切結 ○切開 ○切崩 ○切碎 ○切散 ○切掛 ○銀世界 ○凶作 ○凶歳 ○凶年 ○境界 ○境涯 ○境遇 ○居城 ○居留地 ○經文 ○經師屋 ○宮殿 ○宮門 ○宮女 ○局面 ○局員 ○胸痛 ○胸隔 ○胸臆 ○供給 ○牛皮餡 ○饗應 ○向後 ○景迹 ○兄弟 ○嚮導 ○亭年 ○隔心 ○弓勢 ○既得權 ○區氣遣敷 ○



(きぎ)

○御親類 ○御親  
 威 ○御親族  
 自己親族  
 ○皆皆 ○一統  
 一同 ○各自  
 ○祖父 ○祖母  
 ○隱居  
 ○岳父 ○婦翁  
 ○伯(叔)父 ○伯(叔)母  
 ○父母 ○雙親  
 兩親

○聞誤 ○聞苦敷 ○金鑄燒 ○奇奇妙妙 ○行狀 ○寄  
 宿舍 ○窮狀 ○窮理學 ○恐縮 ○恐惶 ○逆戻  
 逆上 ○強弱 ○強力 ○銘肝 ○徹肝 ○潰  
 肝 ○肝魂 ○玉章 ○危機一髮 ○曲直  
 ○几帳面 ○巍巍堂堂 ○宮城 ○官中 ○局長 ○胸中  
 ○金玉糖 ○九死一生 ○共和政治 ○危急存亡  
 基本財産 ○切口上 ○胸膜炎 ○巾着切 ○困難 ○屈 ○奇  
 奇怪怪 ○虛虛實實 ○仰仰敷敷 ○行住座臥  
 ○強制執行 ○玉石混同

二〇八

○拙父 ○家父  
 祖父 ○老爺 ○拙  
 母 ○家母 ○老母  
 ○儒人  
 ○愚兄 ○舍兄  
 阿兄 ○家兄 ○拙  
 姉 ○家姐 ○愚妻  
 ○家内 ○荆妻  
 賤妻  
 ○愚弟 ○舍弟  
 愚妹 ○家妹  
 ○小婿 ○女夫

(かき)

「ゆ」の部

湯 ○勇 ○湯屋 ○湯氣 ○湯煮 ○湯葉 ○行 ○弓場  
 指 ○夢 ○結 ○床 ○衿 ○往 ○諭示 ○勇氣 ○勇  
 士 ○湯浴 ○湯錢 ○湯殿 ○湯取 ○湯冷 ○湯灌 ○湯垢 ○湯  
 熨 ○湯花 ○湯煎 ○湯漬 ○行手 ○行方 ○夕日 ○夕食 ○弓  
 師 ○弓手 ○雪見 ○雪消 ○雄姿 ○雄圖 ○譲り  
 油煙 ○油斷 ○輸入 ○許し ○夢見 ○夢路 ○搖ぎ ○搖する  
 ○由來 ○融通 ○融解 ○豊か ○昨夜 ○歪み ○縁 ○往  
 來 ○遊山 ○濯ぎ ○委ね ○弛み ○故に ○所以 ○諭  
 達 ○國勇健 ○勇進 ○勇猛 ○勇斷

二〇九



(きき)

○家婦○家媳○  
 愚息○愚女  
 ○兒輩  
 ○愚孫  
 ○從兄○從弟  
 ○從姉○從妹  
 ○愚甥○愚姪  
 ○親類○親戚  
 ○親族  
 家屋稱呼  
 先方家屋  
 ○御宅○御住居

○勇奮○勇壯○勇退○勇上○湯豆  
 腐○行交○行摩○行合○行先○行末○行暮○夕  
 方○夕刻○夕燒○夕映○夕暮○夕陽○夕風○夕  
 暗○夕飯○雪空○雪折○雪降○雄辯○雄大  
 ○被讓○輸出○被許○遺書○遺言○遺誠○遺  
 物○指折○指跡○指差○夢占○結納○由緒○由  
 由敷○裕福○懷しく○浴衣地○愉快○緩りと  
 ○緩々○寛り○忽○唯一○融解○國行交○行  
 止○行行○行倒○行惱○行屈○行渡○夕付日○  
 夕間暮○夕涼○夕月夜○雪見酒○雪模様○雪明○雪下

○御邸○貴家  
 ○貴店○貴肆  
 ○尊邸○尊館  
 高堂○玉堂  
 雅屋○錦屋  
 自己家屋  
 ○私方○弊  
 家○弊舍○弊舖  
 ○拙宅○當方  
 ○矮屋○茅屋  
 ○鄙屋○陋屋  
 蝸居○小店

○雪頰○雪達摩○讓受○讓吳○讓合○指相撲○夢語○  
 結肌帶○搖搖と○不意○弓矢の道○弓張月○讓  
 渡○讓與○難許○故故敷りげ○油斷大敵○國勇  
 壯活潑

「め」の部

○眼○芽○召し○銘○妙○眼路○減り○飯○雌○愛  
 ○右手○姪○名家○名譽○名利○名詞○名簿  
 ○名刺○名義○目當○目安○目盛○目差○目掛○目利  
 ○目見○目端○目立○目張○目上○目下○目先○目方

(め)



土地稱呼  
とちしやうこ

先方土地  
せんぱうとち

○御地 ○貴郷 ○

貴境 ○錦地

自己土地  
じこぞち

○當地 ○當所 ○

此地 ○弊地

自己國許  
じこくにもと

○國許 ○郷里

○郷邑

宛名、側辭  
あてな そくじ  
(上位の人) ○閣

注意  
ちゆうい

平信の場合  
へいしんばあひ

下 ○簾下 ○尊前

○侍曹 ○侍史 ○

侍婢 ○執事 (上

位若くは中位の

人) ○玉机下 ○

玉案下 ○机下

○座下 ○臺下 ○

帳下 ○楮下 ○足

下 ○座右 ○楮右

○研北 ○函丈

○目醒 ○目文字 ○目角 ○目後 ○目眇 ○目付 ○目玉 ○

目許 ○面部 ○面皮 ○面諭 ○明示

○明治 ○被召 ○命じ ○命示 ○銘じ ○惠み ○免じ ○

冥府 ○冥土 ○冥加 ○滅し ○滅多 ○滅金 ○芽差 ○芽出

○芽生 ○苗字 ○妾 ○崩 ○盲 ○眩暈 ○夫婦 ○娶り ○

國名産 ○名物 ○名所 ○名門 ○名手 ○名人 ○名工 ○

名望 ○名聲 ○名筆 ○名文 ○名移 ○目障 ○目通 ○目早

○目配 ○目聰 ○目標 ○目切 ○目藥 ○目出度 ○目隱 ○目

潰 ○面體 ○面相 ○面謁 ○面識 ○面談 ○面接

○面前 ○面倒 ○面面 ○面目 ○面積 ○明白 ○明瞭 ○

明斷 ○明君 ○明察 ○明達 ○明敏 ○明徳 ○明

哲 ○明瞭 ○明細 ○明月 ○召寄 ○召文 ○召連 ○

召捕 ○召替 ○召物 ○命令 ○命數 ○命日 ○銘肝 ○

銘銘 ○銘酒 ○銘茶 ○妙計 ○妙法 ○妙藥 ○

被惠 ○免除 ○免役 ○免許 ○鳴動 ○鳴弦 ○

○鳴謝 ○冥福 ○眼前 ○眼醫者 ○滅盡 ○滅亡

○滅相 ○滅法 ○滅込 ○盟約 ○盟友 ○

盟兄 ○瞑目 ○瞑眩 ○飯盛 ○綿服 ○綿密 ○

綿綿 ○酩酊 ○迷惑 ○迷心 ○胸 ○廻らし ○囚人 ○

○瞬 ○著しく ○女女敷 ○名勝 ○名匠 ○名狀 ○名



〇〇〇

〇平信 〇無事  
 〇平安  
 他見を憚る場合  
 〇乞親展 〇乞親披 〇乞直覽  
 〇乞親覽 〇御自展 〇御親剪  
 〇御直披  
 要事を表する場合  
 〇要事 〇要信 〇要件  
 急速を要する場合

稱 〇目子算 〇面色 〇面會 〇召出 〇召狀 〇召抱 〇召使  
 〇被命 〇受命 〇依命 〇命中 〇命脈 〇惠金 〇被免 〇免職  
 〇免狀 〇滅却 〇銘酒屋 〇運合 〇食上 〇珍敷 〇目分  
 量 〇盲遊 〇目拔の場所

「み」の部

〇身 〇實 〇見 〇見場 〇右 〇御酒 〇御世 〇味噲 〇店  
 〇三毛 〇耳 〇満ち 〇皆 〇幹 〇神子 〇峰 〇容貌  
 〇見入 〇見上 〇見受 〇見分 〇見詰 〇見取 〇見蕩 〇見抜  
 〇見馴 〇見映 〇見兼 〇見張 〇見向 〇見掛 〇見込 〇見醒

〇〇〇

合  
 〇至急 〇至急用  
 〇急用 〇急信  
 〇駛急  
 返書を表する場合  
 合  
 〇御答 〇拜復  
 〇拜酬 〇奉復  
 〇奉酬 〇敬報  
 〇謹酬 〇裁答

〇見聞 〇見越 〇見棄 〇見知 〇見出 〇見初 〇見逸 〇見付  
 〇見付 〇見立 〇見物 〇見舞 〇見本 〇見切 〇身寄 〇身内  
 〇身許 〇身柄 〇身共 〇身分 〇身振 〇身持 〇身隨 〇身形  
 〇身重 〇身賣 〇身請 〇身投 〇身幅 〇身過 〇身毛 〇右  
 〇水嵩 〇水陰 〇水澁 〇水屑 〇水絶 〇水面 〇水屋 〇水  
 枝 〇水曲 〇御國 〇御言 〇御靈 〇御髮 〇御  
 法 〇味方 〇味醂 〇味噲屋 〇味噲煮 〇密議 〇密夫  
 〇密婦 〇密事 〇未然 〇未發 〇未遂  
 〇未濟 〇未了 〇未納 〇未満 〇未明 〇未來  
 〇未曾有 〇未練 〇未開 〇三春 〇認め 〇宮居



(み)

書翰文例

年始の文

履端の慶賀遐邇一體  
めでたく申納め候先  
以て御地御全家増す  
御健勝御越年遊  
ばされ賀し上げ奉り  
候隨て私無事に暮  
し居り候間憚な  
がら御安意下さるべ  
く候先は御祝儀申し  
上げたは是の如くに

候敬具

返詞

同慶に存じ奉り候貴  
家様彌々御清康御  
迎年遊ばされ欣喜  
の至り賀し奉り候當  
地一同恙なく加齢仕  
り候間恐ながら御  
休心下さるべく候  
右御返詞かたへ御  
慶申し上げ候謹復

(み)

二二六

民事○實入○實生○實り○亂れ○微塵○脈○看做○都  
○都雅○磨き○汀○砌○眉見○美事○操○矜○晦  
貢○稚木○瑞穂○贏○綠○港○南○汝  
○深雪○深山○行幸○土産○未練○微細○木乃伊  
御稜威○見落○見忘○見定○見收○見答○見比  
○見返○見渡○見積○見届○見通○見習○見逃○見惡  
○見放○見開○見憂○見廻○見晴○見合○見覺  
○見下○見交○見極○見貶○見下○見劣○見送  
見限○見隠○見殺○見掛○見澄○見倒○見處○見  
世物○身代○身上○身長○身性○身隱○身構○身籠

○身罷○身慄○身代○身仕舞○身不知○右  
之儀○右様○水籠○水無月○水口○水上○水底○水  
玉○水際○水先○水攻○水責○水物○水仕女○水飴  
○水漬○水莖○水色○御言葉○御手洗○味噌汁○味噌  
漬○路草○路連○密談○密接○密閉○密造○密通○未完  
○密封○密書○密賣○密告○密夜○道道○道筋○  
○未着○未熟○未定○未來記○明夜○道道○道筋○  
道程○道行○道交○店付○店先○店番○三日月  
○耳朶○耳垢○耳鳴○耳打○耳立○耳寄○耳馴○不認  
○宮人○民有○民間○民心○民法○民選○民權○名利

二二七



(み)

○園遊會に人を招く文  
 謹啓弊園の櫻花  
 昨今眞盛につき園遊會相催し知己の方々御招き申上度候まゝ何卒來る何日何時より御家族御同伴にて御枉駕下され度待上げ奉り候珍しからず候へども當日餘興として

○實生 ○微塵粉 ○冥加 ○冥利 ○満満 ○皆皆 ○皆様 ○看破 ○蔑視 ○短く ○懲戒 ○妄に ○導き ○自 ○免缺 ○放水 ○嬰兒 ○漲り ○孤子 ○聾耳 ○醜く ○見繕 ○見苦敷 ○見計 ○見隠 ○見行 ○見切物 ○見切賣 ○見世開 ○不見不知 ○身拵 ○身繕 ○身許金 ○右之者 ○右之由 ○右之譯 ○右之旨 ○水溜 ○水煙 ○水鏡 ○水脹 ○水中 ○水茶屋 ○水菓子 ○水藥 ○水仕事 ○水臭く ○御國風 ○路導 ○路狹 ○明朝 ○明日 ○明晚 ○明夕 ○明年 ○道順 ○道普請 ○耳遠 ○耳擦 ○認兼 ○被認 ○宮仕 ○宮參 ○民情 ○名代 ○名目 ○名

某の琵琶法師に平家を語らせ申すべく候尤も雨天に候はば翌何日に順延の事と御承知下され度候右御案内まで草々頓首

○返詞  
 華翰拜誦陳れば來る何日尊邸園遊會御催しに付き小生にまで御案内下

(じ)

○名號 ○亂散 ○亂入 ○亂髮 ○脈搏 ○磨込 ○見掛倒 ○見様見真似 ○右之次第 ○右之仕末 ○右之如く ○右之通り ○水水敷 ○明後日 ○道案内 ○難認 ○冥加金 ○雅言 ○瑞穂國 ○身上話 ○身分相應 ○右之趣 ○水莖の跡 ○未來永劫 ○身上判斷 ○水先案内 ○明明後日 ○名詮自稱 ○水吞百姓

「じ」の部

○師 ○詩 ○字 ○市 ○師事 ○自己 ○自家 ○自治 ○自費 ○自訴 ○自他 ○自棄 ○自負



(しじ)

され有難く禮謝し  
 奉り候當日は萬障  
 を繰合せ是非陪觀  
 の榮を拜し度今より  
 樂み居り候麥酒半  
 打進呈致し候御  
 笑留下さるべく候  
 謹酬

○觀花誘引の文  
 明日は日曜日につ  
 き快晴に候はゞ小  
 命非へ花見に出かけ

自餘これよ ○死し ○死期いま ○死後しご ○白しろ ○下した ○私意しい ○私費しひ  
 ○私利しり ○私訴しそ ○私語しご ○時時じじ ○時事じじ  
 ○時機とき ○時宜とき ○心しん ○事務じむ ○事故じこ ○事理じり  
 ○四季しき ○四時しじ ○社しゃ ○主しゅ ○鹽しほ ○品しな ○質しつ ○質しち ○舌した ○敷し  
 ○詩歌しか ○澁しぶ ○染みし ○締めし ○知りし ○慈悲じひ ○字彙じぶ ○侍じ  
 ○侍醫じい ○侍史じし ○侍婢じひ ○辭じ ○辭宜じぎ ○辭じ  
 ○辭氣じき ○至愚しぐ ○城しろ ○指揮しき ○支部しぶ ○始祖しそ  
 ○市區しき ○爾後じご ○兒戲じぎ ○滋味じみ ○耳語じご  
 ○式しき ○濕氣しけ ○臣しん ○注連しゆめ ○序じよ ○尻しり ○汁しる ○代しろ ○皴しわ ○朱しゆ  
 ○若くし ○肉し ○嗣子し ○室しつ ○縞しま ○凍みし ○占めし ○指麾し

三三〇

度兩三友申し合せ候  
 貴兄御さし問これな  
 くば御同觀いかゞ  
 伺ひ上げ候頓首  
 ○疎音を謝する

文  
 謹啓時下春暖の節  
 皆々様御健勝に  
 在らせられ候や小生  
 別條なく勤務致し  
 居候間御休心下さ  
 るべく候偕て近來は

○醫師しおん ○師弟しでい ○師傳しでん ○師範しはん ○自分じぶん ○自身じしん  
 自宅じたく ○自國じこく ○自立じりつ ○自力じりき ○自主じしゆ ○自體じたい  
 ○自愛じあい ○自裁じさい ○自殺じさつ ○自刃じじん ○自害じがい  
 ○自滅じめつ ○自炊じすい ○自序じじよ ○自製じせい ○自作じさく ○自筆じひつ ○自辨じべん  
 ○自前じまへ ○自讚じさん ○自由じゆう ○自在じざい ○自今じこん ○自然じぜん ○死亡じはう ○死し  
 ○死目しにめ ○死別しべつ ○死人しにん ○死人しびと ○死骸しがい ○死體したい ○死刑しけい ○死し  
 ○死守ししゆ ○死戦しせん ○死生しせい ○書しよ ○書家しよか ○書しよ  
 ○書肆しよし ○白しろ ○白髮しろが ○白齒しろは ○白面しろめ ○白斑しろふ ○白刃しろは  
 ○白子しろこ ○白洲しろす ○親子おや ○親身しんみ ○親父しんぶ ○親疎しんそ ○親しん ○下した

(しじ)

三三一



一向御伺仕らず  
疎音に打過ぎ居候儀  
定めし御叱責在らせ  
られ候はんと恐入り  
奉り候近來小生の受  
持非常に多忙に相  
成り毎月休日も得  
難き程これあり候故  
多罪を知りながら意  
に任せず遂に今日  
に到り候次第に御座  
候間宜しく御諒察

(177)

目○下繪○下地○下部  
下火○仕向○仕分○仕業○仕様○仕付○仕立○仕出  
仕込○仕事○仕種○仕打○仕方○仕組○仕掛○仕  
替○仕切○仕上○仕置○仕入○仕合○仕舞○人爲  
人事○人家○私怨○私論○私書○私有○私物○私  
立○私宅○私用○私欲○秀歌○秀句○實に○實父  
○實母○實子○實家○實意○實義○實事○實施  
○實地○實費○實否○時間○時刻○時分○時  
日○時節○時勢○時運○時代○時限○時年○時  
候○時疫○時好○時雨○心事○心氣

二二三

願ひ上げ奉り候併  
し道々覽務に至り  
候儀に付近日拜登萬  
々御詫申上べく候  
頓首

○養蠶手傳を頼

む文

弊家の蠶兒昨今上  
り際となり常備人  
のみにて何分手廻り  
兼ね候ふまゝ願ひか  
ね候へども若衆二

(178)

心機○心機  
○事件○事項○事業○事變○事蹟○事實○所持  
○所依○所務○所作○所爲○所爲  
○失家○失意○新芽○新地○新婦○新派○新奇  
新規○修史○修理○順○須叟  
○首座○首位○首尾○首鼠○首府○首夏○首途  
○情○周忌○周圍○食○祝儀○證○神威○神事  
○神供○神馬○神符○神秘○神祕○四面○四  
方○四季施○四海○四隣○四民○四恩○四體

二二三



(一七)

三人兩三日御手傳の義御依頼申したく若し御差支に候はゞ一人にてもよろしく候間何分御くり合せ下されたく候

○時候不順見舞の文

此頃の天氣は兎角不順にて身體に影響する處少なからず誠に困入り申し候

二二四

四更○四散○社寺○熟○信○信徒○信義

○信疑○主治○真偽○真紅○邪氣○邪智○邪魔○仁慈

○仁義○思想○思慮○思索○思案○鹽氣○鹽煮○深夜○深意

○謝意○謝儀○酒氣○職○手記

○手簿○質素○質疑○質屋○敷地○叱り○收支

○執事○疾苦○詩文○詩人○詩客○詩作

○詩集○詩囊○爲合○爲出○爲落○爲遂○爲果○爲留

○爲拔○爲馴○爲佗○濫り○忍び○潮路○審査

(一七)

尊體御別條もこれなく候か御用心專一に祈り上げ候拙貌の寫眞この程影撮致し候まゝ一枚尊覽に入れ候早々

○返詞

仰の如く連日の陰雨殊に寒冷を覺え身心の不快此事に候しかし老少とも幸に健在これあり

○審理○審議○震怒○霜夜○車夫○守護

○守備○諸子○不知○知邊○酌○寫字○殊死○甚雨

○島田○醜婦○盡期○集議○殺し○寺院○寺内

○寺號○寺社○慈愛○慈惠○慈善○慈仁

○字典○字引○字書○侍臣○侍女○辭令○辭表○辭退

○辭世○辭書○至要○至孝○至急○至公

○至極○至誠○至善○至德○至大

○使役○使用○使令○使節○使者○使命

○資格○資格○資金○資産○資本○指令○指名○指南

○獸醫○支店○支給○支配○支辨○支度○支流

二二五



候間御休心願ひ上げ  
候御宵影一葉拜領  
仰せ付られ恭悦斜  
めならず永く家寶に  
供へ置き候早々頓  
首

○田の草取りに  
人を雇ふ文

昨夜は久振の快雨  
御同慶に存じ候備は  
此程中の早越にて  
水涸れ其儘捨おき

候處田草夥しく  
繁茂候につき至急  
取り除き肥料施し  
たく存じ候就ては在  
來の傭人のみにて  
は何分手まわり兼ね  
候まゝ男女何れにて  
もよろしく四五人程  
御周旋下され度御  
依頼申上げ候

○暑中見舞の文  
拜啓昨今の炎暑

始末○子細○子息○子孫○子弟○史學○市立○市營○  
市内○市政○爾來○愁眉○愁訴○臭氣  
○臭味○施行○施政○施設○兒童○兒女○滋  
養○視線○視察○視界○耳目○紙面  
○紙質○士卒○士族○齒痛○齒牙○齒科○志望○試業  
○試驗○次第○次男○次女○刺激○刺擊  
○示し○示談○囚徒○併し○然も○式次  
○式後○濕し○濕地○繁り○繁く○七夜○膝下  
○躰け○芝生○芝居○痺れ○什器○臣下○臣等○辛苦  
○趣意○趣旨○趣味○取次○術○授與○嗜

欲○嗜好○暑氣○暑威○庶子○庶務  
○叙し○叙位○叙事○處し○處置○汁粉○後方  
後目○驟雨○舟子○舅○諛號○技葉○耽と○鬻  
め○祇候○伺候○扱さ○仔細○紫根○無言  
咫尺○慕ひ○垂れ○雫○嫉妬○沈み○萎び  
○脂肪○脂粉○暫し○縛り○強て○習字○拾遺  
○沙干○凋み○絞り○姊妹○嗔恚○紳士○鍼治  
○諮問○奢侈○娑婆○雌雄○呪詛○證  
○恕し○調べ○印○記し○撓り○晨暉○國師匠  
○自稱○自負心○自墮落○自若○自畫讚○死



は取分け堪へがたく  
存じ候處愈々御堅勝  
に御暮しなされ候  
や伺ひ上げ候此品  
遠方の知人より贈  
り越し候ものにつま  
態と進呈致し候時  
下折角御自愛祈り  
奉り候頓首  
○返詞  
貴命の如く暑氣烈し  
候處御平安に在せ

入○死絶○死水○死顔○死傷○死力○死靈○死靈○死靈  
書風○書法○書式○書翰○書信○書籍○書物○書  
類○書面○書見○書齊○書損○書札○書生○書林  
○白髭○白茶○白鹿毛○白妙○白露○白波○白紙○  
白水○白粥○白下○白味噌○白酒○白物○白敷○  
親裁○親臨○親類○親族○親戚○親友○  
親近○親愛○親和○親展○親睦○親密  
○下書○下摺○下讀○下組○下腹○下方○下積○  
下萌○下役○下折○仕立屋○仕事場○仕事師○仕懸○

られ欣賀し奉り候 備  
御尋問として珍ら  
しき御品御惠贈下  
され厚く御禮申上  
り候敬具  
○早魃見舞の文  
近來は晴天のみうち  
續き更に降雨の模様  
なく爲めに河水は涸  
れ細り田面には豊破  
れを生じ恐るべき  
早魃の災兆相催ほし

仕返○仕來○仕合○人口○人種○人類○人心○人身  
○人生○人命○人物○人材○人口○人望○人望○人望  
才○人欲○人臣○人造○人工○人道○人烟  
名○人跡○人影○人世○人倫○人民○人員○人  
○上下○上部○上使○上意○上座○上手○上古○私  
情○私塾○秀才○秀逸○秀吟○秀靈○秀靈  
實體○實銘○實効○實用○實驗○實行○  
實際○實景○實感○實質○實體○實業○實錄○實說○  
心底○心念○心慮○心頭○心神○心魂○心







(しじ)

され早速冷水に瀾  
し御厚志の清味を頂  
戴致すべく候書外  
拜眉の上御禮申し  
述べ候頓首

○二百十日の無

事を賀する文

今年は春來順和  
にて作物もことの外  
景氣よろしく唯だこ  
の二百十日をのみ如  
何かと氣遣ひ居り候

處全國一般の好  
天氣にて御同様大  
慶に存じ候とりわけ  
貴家の御作物は目覺  
しきまでに出來上り  
御收穫のほどさこそ  
と御祝ひ申上候

○月見に友を招

今夕は陰曆三五の良  
宵に候へば親友三四  
名を語らひ芝浦に扁

(しじ)

二三一

○神社 ○神體 ○神徳 ○神靈 ○神慮 ○神罰 ○神祭  
○神酒 ○神燈 ○神拜 ○神前 ○神佛 ○神代 ○神託  
○神變 ○神葬 ○神聖 ○神妙 ○神學 ○神經 ○正味 ○正氣  
○正路 ○正忌 ○正午 ○社員 ○社參 ○社頭 ○社  
前 ○社内 ○熟し ○熟字 ○熟語 ○熟議 ○熟視  
○熟知 ○信用 ○信任 ○信託 ○信號 ○信書 ○借家 ○借地 ○生じ  
○生死 ○主君 ○主人 ○主家 ○主用 ○主恩 ○主宰 ○主筆 ○主劍  
○主任 ○主治醫 ○主眼 ○商賈 ○商家 ○商議  
○眞率 ○眞實 ○眞物 ○眞蹟 ○眞筆 ○眞劍

○眞景 ○眞如 ○邪念 ○邪道 ○邪儉 ○邪説 ○邪推 ○宿場 ○勝利 ○勝負 ○勝地 ○勝志 ○宿  
徳 ○仁人 ○仁者 ○仁君 ○仁政 ○仁惠 ○仁愛 ○仁徳 ○仁恕 ○仁免 ○鹽物 ○鹽水 ○鹽漬 ○鹽風呂 ○鹽燒 ○鹽揉 ○深奥 ○深慮 ○深遠 ○深切 ○深閨 ○深窓 ○深淺 ○深更 ○謀  
○深山 ○深沈 ○常備 ○常時 ○謝禮 ○謝物 ○謝罪 ○謝絶 ○酒席 ○酒樓 ○酒肉 ○酒毒 ○酒客 ○酒落 ○酒癖

二三三



舟を浮べ観月の趣  
向相整へ候間午後  
四時頃より何々樓  
まで尊來待上候尤  
も親戚の女兒なども  
参り申すべく候間御  
令妹様にも御同道  
願ひ上げ度候草々

○返詞  
今宵觀月の御催  
のよし御招き下され  
忝く存じ奉り候

○酒亂 ○酒精 ○酒豪 ○酒宴 ○從し ○從事  
○從子 ○從父 ○從母 ○承知 ○職務 ○職場 ○手足 ○手  
段 ○手練 ○手簡 ○手跡 ○賞し ○賞與 ○賞賜  
○賞美 ○賞詞 ○賞味 ○身命 ○身代 ○身  
體 ○品物 ○品切 ○品觸 ○質樸 ○質問 ○質  
種 ○質物 ○舌打 ○敷金 ○被叱 ○收入 ○收益 ○收  
納 ○收稅 ○識者 ○識別 ○執念 ○執心 ○執  
行 ○執筆 ○疾風 ○疾風 ○爲果 ○爲盡 ○爲  
濟 ○爲損 ○爲直 ○澁澁 ○澁茶 ○澁面 ○澁滯 ○爲  
忍音 ○潮風 ○潮道 ○潮先 ○潮時 ○潮水 ○潮汐 ○染付

殊に海上は又格別  
の風景定めし高什  
も伺はれ候事と歡  
悦致し候貴命に從ひ  
愚妹同伴御邪魔致す  
べく官しく願ひ上奉  
候拜復

○稻刈助勢を頼  
む文  
拜啓早稲米は最早と  
りかたづけ候ゆえ  
是より晩稻に着手

○染込 ○染着 ○染染 ○審判 ○震動 ○震災 ○震慄  
○締寄 ○締付 ○締切 ○締賣 ○締高 ○締上 ○霜枯 ○霜  
除 ○霜月 ○霜降 ○將士 ○車力 ○車輪 ○諸君 ○諸兄 ○諸  
人 ○諸諸 ○諸方 ○諸般 ○諸式 ○諸國 ○諸禮 ○諸種 ○諸  
佛 ○知人 ○知拔 ○助命 ○助力 ○助言 ○助教 ○助役 ○助  
勢 ○稱し ○稱呼 ○稱譽 ○衆議 ○酌  
婦 ○請じ ○寫生 ○寫本 ○寫眞 ○宗旨 ○宗派 ○宗徒 ○受  
納 ○種類 ○種種 ○種痘 ○種別 ○甚寒 ○甚暑 ○甚暑 ○甚暑 ○島  
守 ○診斷 ○診察 ○醜行 ○醜體 ○醜聲 ○醜名 ○







(二七)

○早稻米を贈り  
客を招く文  
田植の初めより百事  
御配慮下され候  
早稲米の儀漸く此  
程收納を了り先づ十  
分の作にて満悦仕  
り候就ては些少なが  
ら新米一俵差上げ  
候間御神前へ御供へ  
下されたく猶酒一  
献さし上げたく候ま

○晨朝  
○申報  
○訊問  
○攘夷  
○唱歌  
○嫦娥  
○娼妓  
○淨土  
○醬油  
○蛇足  
○差別  
○赦免  
○需用  
○夙志  
○夙夜  
○侏儒  
○卒  
○剩餘  
○植  
○馴致  
○準備  
○塵物  
○蒸氣  
○剩餘  
○植  
○如月  
○徐々  
○署名  
○退  
○素人  
○萎萎  
○吟域  
○震慄  
○審判  
○眞蹟  
○斜日  
○醜穢  
○巨  
○自棄  
○自畫像  
○死後  
○死殘  
○死別  
○書狀  
○書  
○白眼  
○下腹  
○下馴  
○下心  
○下屋敷  
○人力  
○上  
○上院  
○上席  
○上段  
○上等  
○上達  
○上納  
○上品

二三八

(二七)

○今夕五時ごろより  
御光來の程待ち上  
げ候  
○豊作祝に幻燈  
師を招く文  
今年は近比稀なる  
豊作にて村内一同鼓  
腹の樂に御座候因て  
其祝として角力或  
は演劇を相催し度  
と種々村内の協議  
もこれあり候へども

○上世  
○上代  
○上水  
○上翰  
○上院  
○上席  
○上段  
○上等  
○上達  
○上納  
○上品  
○上陸  
○上流  
○上申  
○上書  
○上流  
○實直  
○實正  
○實證  
○實性  
○實況  
○時代物  
○心中  
○心力  
○心外  
○心中  
○心術  
○心理學  
○出御  
○出勤  
○出頭  
○出席  
○出立  
○出發  
○出帆  
○出船  
○出港  
○出陣  
○出征  
○出奔  
○出生  
○出產  
○出版  
○出金  
○出品  
○出獄  
○出牢  
○出處  
○出身  
○出精  
○出群  
○出藍  
○出來  
○出現  
○出入  
○出沒  
○秋色  
○所領  
○所管  
○所轄  
○所願  
○所行  
○新春  
○新緑  
○修飾  
○修辭學  
○順繰  
○順番  
○順序

二三九



(しじ)

何れも無益の事に候  
ゆる東京より學者  
を聘し農學上の講  
談會相開き夜分  
は教育幻燈會相  
催すことに相談一  
決致し候就ては明  
何日外に御差合も  
これなく候はゞ器械  
御携帶にて午後五時  
までに御出張下さ  
れ度御依頼申上げ候

○順當 ○順風 ○進上 ○初春 ○初旬 ○初七日 ○初會  
○首領 ○首魁 ○首唱 ○首相 ○首卷  
○情愛 ○情交 ○情實 ○情人 ○情欲 ○周章  
○周回 ○食物 ○食鹽 ○食用 ○食料 ○食前 ○食堂  
○食卓 ○食膳 ○食道 ○食欲 ○食滯 ○食客  
○食言 ○祝福 ○祝文 ○祝着 ○祝宴 ○祝日 ○祝砲  
○巡覽 ○巡見 ○巡行 ○巡拜 ○巡禮 ○證跡  
○證人 ○證明 ○證書 ○證文 ○神官 ○神職 ○神色 ○四半  
○正直 ○正眞 ○正銘 ○正物 ○正體 ○正當  
○正統 ○正面 ○正金 ○社長 ○社中 ○社會 ○社務

二四〇

(しじ)

○農馬借入の文  
拜啓昨日刈上げ候  
稻束澤山これあり候  
處天氣俄に雨模様  
と相成候に付只今よ  
り納屋へ取込みたく  
候へども一頭の馬に  
てはとても間に合び  
申さずさりとて折角  
刈とり候ものを雨晒  
しに致すも残念に御

所 ○社寺有 ○熟生 ○熟談 ○熟慮 ○熟考  
○熟達 ○熟練 ○熟覽 ○熟讀 ○熟眠 ○熟睡  
○熟醉 ○借金 ○借錢 ○借財 ○借宅 ○借用 ○借料 ○借覽  
○生害 ○主將 ○主命 ○主張 ○商業 ○商賣  
○商人 ○商店 ○商船 ○商標 ○商品 ○邪正 ○邪曲  
○邪魔物 ○宿衛 ○宿怨 ○宿望 ○宿業  
○宿弊 ○宿緣 ○宿題 ○宿醉 ○宿醒 ○宿老  
○宿繼 ○宿泊 ○宿料 ○宿賃 ○宿所 ○宿坊 ○春寒  
○春暖 ○春秋 ○春蠶 ○勝算 ○勝敗 ○勝報 ○仁術

二四一



座候ゆる貴家の愛馬  
本日御不用にこれあ  
り候は借 用 致し  
度御願 申 上げ候草

○寒中見舞の文

嚴寒の時節皆々様  
倍す御健全大慶の  
至に存じ候兎角懶  
惰のため奉問も致  
さず恐縮この事に候  
不細工には候へども

手製の蕎麥切一重伺  
ひ上げの 印 まで  
御目に懸け候御笑味  
下され候は本懐  
に存じ候頓首

○返詞

尊諭の如く嚴しき寒  
氣に候處貴家いよいよ  
よ御安健の由欣躍  
斜めならず候扱不沙  
汰の義は却て此方  
より謝罪申すべき

(しじ)

(しじ)

○鹽魚 ○常設 ○常例 ○常談 ○酒色 ○酒興 ○酒狂 ○從軍 ○從者 ○從兄 ○從弟 ○從祖父 ○從祖母 ○從前 ○從來 ○承引 ○承諾 ○承認 ○承服 ○職業 ○職分 ○職責 ○職人 ○職工 ○賞品 ○賞典 ○賞罰 ○身上 ○身長 ○品定 ○舌鼓

○敷寫 ○叱付 ○收獲 ○識量 ○執着 ○忍泣 ○忍入 ○忍込 ○染豆 ○締括 ○締殺 ○將校 ○將軍 ○將帥 ○將來 ○車中 ○車掌 ○終了 ○終結 ○終身 ○終日 ○守錢奴 ○純益 ○純金 ○純粹 ○純白 ○諸病 ○稱號 ○稱揚 ○稱讚 ○衆人 ○衆庶 ○衆論 ○衆目 ○衆說 ○衆生 ○衆寡 ○酌人 ○請待 ○若年 ○若輩 ○若干 ○精進 ○寫真師 ○宗教 ○受領

○殊色 ○殊勝 ○島流 ○島隱 ○柔術 ○柔弱 ○柔順 ○就職 ○盡力 ○集會 ○殺虐 ○城代 ○支配人 ○愁傷 ○滋養物 ○滋養分 ○視神經 ○試運轉 ○式場 ○色情 ○躰方 ○芝居小屋 ○十二分 ○尋常 ○寢食 ○侵略 ○注連飾 ○詳解 ○詳細 ○詳説 ○掌握 ○償金 ○障害 ○祥月 ○祥瑞 ○性分 ○成佛 ○成就 ○充分 ○充満 ○充實 ○充縱 ○縱覽 ○入興 ○入魂 ○術計

○論 ○若年 ○若輩 ○若干 ○精進 ○寫真師 ○宗教 ○受領 ○殊色 ○殊勝 ○島流 ○島隱 ○柔術 ○柔弱 ○柔順 ○就職 ○盡力 ○集會 ○殺虐 ○城代 ○支配人 ○愁傷 ○滋養物 ○滋養分 ○視神經 ○試運轉 ○式場 ○色情 ○躰方 ○芝居小屋 ○十二分 ○尋常 ○寢食 ○侵略 ○注連飾 ○詳解 ○詳細 ○詳説 ○掌握 ○償金 ○障害 ○祥月 ○祥瑞 ○性分 ○成佛 ○成就 ○充分 ○充満 ○充實 ○充縱 ○縱覽 ○入興 ○入魂 ○術計

○論 ○若年 ○若輩 ○若干 ○精進 ○寫真師 ○宗教 ○受領 ○殊色 ○殊勝 ○島流 ○島隱 ○柔術 ○柔弱 ○柔順 ○就職 ○盡力 ○集會 ○殺虐 ○城代 ○支配人 ○愁傷 ○滋養物 ○滋養分 ○視神經 ○試運轉 ○式場 ○色情 ○躰方 ○芝居小屋 ○十二分 ○尋常 ○寢食 ○侵略 ○注連飾 ○詳解 ○詳細 ○詳説 ○掌握 ○償金 ○障害 ○祥月 ○祥瑞 ○性分 ○成佛 ○成就 ○充分 ○充満 ○充實 ○充縱 ○縱覽 ○入興 ○入魂 ○術計

○論 ○若年 ○若輩 ○若干 ○精進 ○寫真師 ○宗教 ○受領 ○殊色 ○殊勝 ○島流 ○島隱 ○柔術 ○柔弱 ○柔順 ○就職 ○盡力 ○集會 ○殺虐 ○城代 ○支配人 ○愁傷 ○滋養物 ○滋養分 ○視神經 ○試運轉 ○式場 ○色情 ○躰方 ○芝居小屋 ○十二分 ○尋常 ○寢食 ○侵略 ○注連飾 ○詳解 ○詳細 ○詳説 ○掌握 ○償金 ○障害 ○祥月 ○祥瑞 ○性分 ○成佛 ○成就 ○充分 ○充満 ○充實 ○充縱 ○縱覽 ○入興 ○入魂 ○術計

○論 ○若年 ○若輩 ○若干 ○精進 ○寫真師 ○宗教 ○受領 ○殊色 ○殊勝 ○島流 ○島隱 ○柔術 ○柔弱 ○柔順 ○就職 ○盡力 ○集會 ○殺虐 ○城代 ○支配人 ○愁傷 ○滋養物 ○滋養分 ○視神經 ○試運轉 ○式場 ○色情 ○躰方 ○芝居小屋 ○十二分 ○尋常 ○寢食 ○侵略 ○注連飾 ○詳解 ○詳細 ○詳説 ○掌握 ○償金 ○障害 ○祥月 ○祥瑞 ○性分 ○成佛 ○成就 ○充分 ○充満 ○充實 ○充縱 ○縱覽 ○入興 ○入魂 ○術計

○論 ○若年 ○若輩 ○若干 ○精進 ○寫真師 ○宗教 ○受領 ○殊色 ○殊勝 ○島流 ○島隱 ○柔術 ○柔弱 ○柔順 ○就職 ○盡力 ○集會 ○殺虐 ○城代 ○支配人 ○愁傷 ○滋養物 ○滋養分 ○視神經 ○試運轉 ○式場 ○色情 ○躰方 ○芝居小屋 ○十二分 ○尋常 ○寢食 ○侵略 ○注連飾 ○詳解 ○詳細 ○詳説 ○掌握 ○償金 ○障害 ○祥月 ○祥瑞 ○性分 ○成佛 ○成就 ○充分 ○充満 ○充實 ○充縱 ○縱覽 ○入興 ○入魂 ○術計

○論 ○若年 ○若輩 ○若干 ○精進 ○寫真師 ○宗教 ○受領 ○殊色 ○殊勝 ○島流 ○島隱 ○柔術 ○柔弱 ○柔順 ○就職 ○盡力 ○集會 ○殺虐 ○城代 ○支配人 ○愁傷 ○滋養物 ○滋養分 ○視神經 ○試運轉 ○式場 ○色情 ○躰方 ○芝居小屋 ○十二分 ○尋常 ○寢食 ○侵略 ○注連飾 ○詳解 ○詳細 ○詳説 ○掌握 ○償金 ○障害 ○祥月 ○祥瑞 ○性分 ○成佛 ○成就 ○充分 ○充満 ○充實 ○充縱 ○縱覽 ○入興 ○入魂 ○術計

○論 ○若年 ○若輩 ○若干 ○精進 ○寫真師 ○宗教 ○受領 ○殊色 ○殊勝 ○島流 ○島隱 ○柔術 ○柔弱 ○柔順 ○就職 ○盡力 ○集會 ○殺虐 ○城代 ○支配人 ○愁傷 ○滋養物 ○滋養分 ○視神經 ○試運轉 ○式場 ○色情 ○躰方 ○芝居小屋 ○十二分 ○尋常 ○寢食 ○侵略 ○注連飾 ○詳解 ○詳細 ○詳説 ○掌握 ○償金 ○障害 ○祥月 ○祥瑞 ○性分 ○成佛 ○成就 ○充分 ○充満 ○充實 ○充縱 ○縱覽 ○入興 ○入魂 ○術計







し奉り候はた明日は  
 豫て願ひおき候御  
 文章必す御携  
 へなし下され度候頓  
 首  
 ○引移を祝ふ文  
 残暑蹴しく候處  
 彌よ御泰健欣喜の  
 至に存じ候陳ば  
 この程は新宅御落  
 成につき御引き移り  
 相成り候よし、愛度

しやうくわん  
 ○將官○終局○不知不知○衆評○衆中○酌量  
 ○至公の論○城中○子子孫孫○孜孜汲汲○輜重  
 兵○乍併○獅子奮迅○痺藥○十人並○  
 掌中○償却○償還○清淨○潤色  
 ○冗長○靜脈○述懷○循循  
 ○循良○死物狂○親睦會○上中下○心  
 中立りとなす○首唱者○眞如の月○身代限○身體検査○  
 精進落○至大至廣○輜重輪卒○聚散離合○森羅萬象○  
 緋○淨土宗○新陳交替○神經過敏○眞劍勝  
 ○加之○櫛風沐雨○猩猩

祝賀奉り候粗酒一樽  
 御歡びまでに拜呈  
 登し候いづれ御座敷  
 拜見の爲め拜趨  
 すべく候頓首  
 ○返詞  
 御狀拜見さては移轉  
 の御悦びとして御  
 酒一樽御惠贈下され  
 辱く拜受致し候  
 近日わざと座敷開き  
 致し候間御繰り

負○春夏秋冬○深謀遠慮○精進料理○七顛八倒  
 ○膝行頓首○迅雷風烈○暑中見舞○新年宴會○進取  
 之氣象○奉祝○神色自若○神經衰弱○  
 熟讀玩味○生者必滅○袖手傍觀○清淨潔白  
 ○尋常一樣○盛者必衰○  
 「ひ」「び」「び」の部  
 火○美○碑○日○日○日步○日賦○引き○人○貧○  
 美衣○美事○晝○非義○品○比し○比擬○  
 膝



ひびび

あはくわらうくだ  
合せ御光 來下され  
度なほ日取は追て申  
し上べく候拜白  
○安産を報ずる  
文  
荆妻事臨月にこれ  
あり候處今朝何時男  
兒出産母兒とも至つ  
て健全に候間御休神  
下さるべく候就ては  
甚だ勝手がましう  
候得ども無人にて困

○微微びび○微雨びう○微意びい○彼我ひが○干るひ○秘しひ○卑ひ  
下げ○鼻祖びそ○肱ひち○皮膚ひふ○冷えひや○鄙ひな○隙ひま○彈きひ○挽ひ  
○曾孫ひそ○襞ひだ○泥ひち○劈痕ひび○鞞ひび○姬ひめ○誹譏ひぎ○庇護ひご  
○悲語ひご○鄙語ひご○目ひ○日暮ひぐれ○日向ひなた○日永ひなが○日出ひのて○日柄ひがら○日指ひさし○日目ひのめ○日和ひより  
○日増ひまし○日延ひのべ○日並ひなみ○日取ひどり○日着ひつき○日頃ひごろ○日付ひづけ○日切ひぎり  
○日掛ひがけ○日濟ひなし○日割ひわり○日傭ひよう○日待ひまち○日交ひまじ○日交ひまじ○日交ひまじ○日交ひまじ  
○引手ひきて○人目ひとめ○人手ひとて○一日ひとひ○一夜ひとよ○一目ひとめ○一手ひとて  
○一箇ひとつ○一重ひとへ○筆意ひつひ○筆記ひつぎ○筆紙ひつし○貧苦ひんく○貧家ひんか○平ひら  
○平手ひらて○平家ひらや○火種ひたね○火花ひばな○火粉ひのこ○火手ひのて○火元ひもと○火ひ

り入り候ま令妹一  
兩日御貸し下され  
度御懇意にまかせこ  
の儀御願ひ申上げ候  
頓首  
○來診を頼む文  
拜啓小兒事昨夜より  
發熱の處今朝に  
至り益々其の度を  
高め候容體につき即  
刻御來診下され度  
依て車夫三吉腕車持

ひびび

消けし○火干ひぼし○火攻ひせめ○火責ひせめ○獨ひとり○美點びてん○美麗びれい○美音びおん○美聲びせい  
○美男びなん○美鬢びせん○美女びぢよ○美人びじん○美名びめい○美談びだん○美文びぶん○久しひさ  
○晝間ひるま○晝寢ひるね○非道ひだう○非業ひごう○非凡ひほん○非分ひぶん○非難ひなん○非役ひやく○非番ひばん○品位ひんる○僻みひがめ○僻目ひがめ○比較ひかく  
○比隣ひりん○比類ひるる○比例ひれい○微小びせう○微細びさい○微笑びせう  
○微温びおん○微運びうん○微妙びめう○乾付ひつぎ○乾反ひぞり○披ひ  
見けん○披閱ひえつ○披露ひろう○披歷ひれき○彼岸ひがん○被害ひがい○被選ひせん  
○被告ひこく○費用ひよう○費額ひがく○干乾ひはし○干物ひもの○干瀉ひがな○秘ひ  
藏さう○秘書ひしよ○秘傳ひでん○秘密ひみつ○秘結ひけつ○秘訣ひけつ○尾行びかう  
尾撃びげき○尾端びたん○尾籠びろう○卑屈ひくつ○卑怯ひけふ○鼻息びそく



(355)

參致させ候頓首

○病氣見舞を謝する文

小生病氣中は毎々御親切に御尋ね下さ

れ且つ御心入れの品々頂戴何とも

恐縮の至り有難く存じ奉り候御蔭にて漸

く本復今日床揚げの祝ひ心計り致し

候まゝ態と赤飯一重

御覽に入れ候頓首

○返詞

御病氣いよく御全快の由御家門御一同の御悦さこそと

存じ謹賀し奉つり候御病中は碌々御

伺も致さす候處却て御丁寧なる御贈品

に預り汗顔の至に候近日參館久

しぶり御快談承

二五〇

左○必死○浸し○匹夫○匹婦○捻り○皮肉○皮相

○批判○避暑○避難○肥立○肥滿○肥料○肥

沃○碑文○飛沫○飛揚○飛行○鄙吝○鄙

見○鄙劣○疲弊○疲勞○廣く○廣間○備考○備忘

○最負○秀て○裨益○東○光り○脾疝○

低く○率る○失聲○嚮ぎ○庇○甚雨○緊と

○歪み○潜み○擡み○頓と○額○悲歎○悲壯

○跛○早○眸○獄○誹謗○響さ○彌縫

○開き○糜爛○弘め○披講○微吟○悲

劇○微賤○四日短○日歸○日下○引入○引込

出○引上○引立○引付○引寄○引去○引取

替○引受○引分○引連○引越○引明○引摺

物○引算○引眉○引柄○人馴○人足○人音

影○人人○人垣○人中○人前○人込○人山

言○人傳○人數○人妻○人質○人並○人事

宿○一口○一筆○一際○一入○一粒○一籠

株○一棹○一樽○一皿○一筋○一家○一先

癖○筆勢○筆法○筆勞○筆者○筆生○筆算

○筆

(356)

二五一







(ひびび)

○失言を謝する

文  
はいけいさくせきじやう  
拜啓昨夜席上にて  
酔酌の餘り貴殿に對  
し失禮の事申上げ候  
由他より忠告を承け  
驚入り候今更謝  
罪致す顔もこれなく  
へ候ども何分前後不  
覺の失態に付き悪か  
らず御寛恕下され  
度幾重にも御詫申

○獨旅 ○美少年 ○美少年 ○美少年 ○美少年 ○美少年 ○美少年 ○美少年 ○美少年 ○美少年  
○病難 ○病體 ○病勢 ○病身 ○病人 ○病院 ○病院 ○病没 ○品  
○評文 ○評決 ○評判 ○評論 ○拾上 ○拾取 ○拾讀  
○捻文 ○評決 ○評判 ○評論 ○拾上 ○拾取 ○拾讀  
○畢竟 ○等並 ○跪さ ○未亡人 ○彌縫策 ○敏活  
○畢竟 ○等並 ○跪さ ○未亡人 ○彌縫策 ○敏活  
○翻し ○困人寄席 ○人差指 ○點火頃 ○病床 ○病中  
○僻々敷 ○評定 ○評釋 ○百姓 ○百箇日 ○避病舎 ○  
○避病院 ○不一方 ○美顔術 ○百度參 ○百日咳 ○顛覆  
○品評會

二五四

○留守見舞の文  
御尊父様御發程後さ  
ぞかし御淋しからん  
と存じ候伺ひ申度  
候へども業務多忙の  
爲め思ひながら御無  
沙汰致し居候御出先  
よりは御音信も候  
や御用など候はし何  
なりとも御申聞け  
下され度候綜一重

もの部

○門徒 ○門地 ○元手 ○元直 ○物見 ○最中 ○最寄 ○最  
○早 ○模様 ○模寫 ○模造 ○模範 ○模索 ○文句 ○  
文字 ○餅屋 ○貫ひ ○黙し ○黙示 ○黙視 ○需め ○  
○悶え ○悶死 ○戻し ○振り ○以て ○木目 ○潜り ○若  
や ○用ひ ○纏れ ○求め ○悖り ○基 ○蛻 ○脆く ○擡げ

(も)

二五五



(も)

御茶料にもと差上げ  
申し候御笑味下され  
度候

○返詞

父出立の砌は遠  
方まで御見送り下さ  
れ有難く先便にてよ  
ろしく申上候様申し  
來り候昨今は京阪  
巡遊中にておひ  
歸途に向ひ候  
旨の通知に候唯今は

(も)

御手製の粽一重御  
恵み下さされ毎度御懇  
情深く感謝致し候  
草々

○病人を慰諭す

御病氣いかゞに候哉  
御大切に御加養願ひ  
上げ候昨日某氏參ら  
れ承り候處貴殿  
には不治の病性な  
りと諦らめ一向服薬

二五六

○目観たしかにみ  
○目算めばん  
見○門前○門内○門番○門鑑○門人○門生○門弟○門  
閥○元金○元締○元元○物好○物音○物忌○物怪○  
物憂く○識  
似○物干○物置○持前○持寄○持込○持出○持去○持  
逃○諸共○諸諸○諸人○諸肌○最も○最少○最一度  
○蒙蒙○洩聞○燃立○餅搗○股立○貫兒○被貫○默然  
○默許○黙契○勿體○勿論○守立○悶絶

○悶悶  
造○木食  
○尤も○専ら○饗應○素より○武士○翻筋斗○桃尻○  
催し○盛上○目皆めし○目標めし○門榜ふだ○門衛ばん○朦朧  
○沐櫛○物思○物怨○物狂○物心○物語○物貫○持  
合○持堪○持來○持餘○持歸○持運○持映○燃上○  
餅菓子○貫泣○貫蓄○紋所○揉療治○悶着○縛合○  
弄び○紅葉狩○被催○國物物敷○物淋敷○紋切形  
○以の外○國門外漢○物騒敷○應需○門前

二五七



(222)

も御進みなき由以て  
の外の次第に候昔時  
に異り醫術進歩の  
今日何症を論せ  
ず治療の協はざるも  
の一事としてこれなく  
畢竟患者の空想  
より治すべきものも  
終に治すべからざる  
地に陥入り候次第な  
れば何卒他念なく一  
意全快を期するの

拂

「せ」「ぜ」の部

○背○瀨○回生○席○性○拙○急○説○勢○善○  
世話○世事○世智○上のじやうに  
咳○施與○是○是非○責  
め○攻め○線○競り○姓○籍○疝○所爲○回生後○生  
氣○生母○生徒○小兒○小子○小事○精氣○清和  
○制し○制度○制止○席次○盛夏○聲價  
○節し○節句○節季○先夜○先度○先祖○先夫○先非  
ひやうばんのくらはる

(せ ぜ)

勇氣を出され度ぐれ  
くも御静養肝要  
に候先は御見舞かた  
く恩存申上げ候  
頓首  
○國産を贈る文  
拜啓先般上京の節  
は度々御邪魔致し格  
別の御厚志に預り  
候段感銘の至に候  
歸郷後被是取り紛れ  
居り御禮大に遅延

先途○前途○少時○切に○切齒○拙家○前後  
期○誓紙○政治○政事○政府○政務○正誤○説破  
説諭○全家○全治○全癒○全備  
○全部○贅語○征し○晴雨○善事○善美○善後  
戦後○戦時○戦死○戦記○戦史○世間○世態  
世界○世人○世才○世俗○世帯○世紀  
専務○整理○笑止○笑話○召募○焦眉  
背中○脊骨○背筋○背丈○背延○背負○施餓鬼○施主  
○施米○施物○施入○施薬○施療○宣下○浅智



悪しからず御海救下  
さるべく國産の備後  
表聊か御禮の印  
までに差上げ候御笑  
納下され候は本懐  
の至に御座候敬具  
○人の性行を尋  
ぬる文  
愈々御多祥賀し上げ  
候借て今回弊社  
何々事業につき某氏  
を事務員に備入れ申

度存じ居候同氏は以  
前より尊家に出入  
候よし申居り候ゆへ  
定めし性行の如きも  
萬々御承知の事と存  
じ候まゝ一應御問合  
せ申上げ候何卒御差  
つかへ  
問これなく候は  
内情御洩し下され度  
願上げ奉り候頓首  
○小作人を周旋  
する文

瀬踏めすこと ○接し ○煎じ ○設置 ○設備 ○責苦 ○漸次 ○  
線路 ○船路 ○船夫 ○捷利 ○僭踰 ○歳暮 ○悴  
瘠地 ○剝削 ○狹め ○迫り ○泉下 ○詮議 ○遷化 ○  
○僂僂 ○撰し ○織維 ○臺詞 ○回生前 ○生計 ○生業  
○生存 ○生命 ○生殺 ○生育 ○生辰 ○生來 ○  
生兵 ○生擒 ○生産 ○成人 ○成童 ○成業 ○  
○成功 ○成績 ○成立 ○成敗 ○小生 ○小人 ○小  
○小心 ○小膽 ○小身 ○小成 ○精細 ○精  
説 ○小暑 ○小寒 ○精精 ○精巧 ○精妙 ○精勤 ○  
根 ○精神 ○精分 ○精密 ○精妙 ○精勤 ○

○精兵 ○精選 ○精製 ○清潔 ○清清 ○清水 ○清  
廉 ○制禁 ○制御 ○絶交 ○絶息 ○絶命  
○絶倫 ○絶世 ○絶大 ○絶對 ○絶念 ○  
絶筆 ○絶倒 ○絶景 ○絶妙 ○席料 ○席  
畫 ○盛暑 ○盛大 ○盛衰 ○聲言 ○聲息 ○聲  
援 ○製藥 ○製法 ○製造 ○製作 ○消渴 ○消失 ○消滅  
○消散 ○消化 ○消息 ○消毒 ○赤心 ○  
○赤面 ○赤貧 ○赤飯 ○節操 ○節酒 ○節儉 ○節減  
○節制 ○節用 ○節節 ○先年 ○先月 ○先



拜啓御所有の豊田村  
宇美濃里の田地小作  
に御出したなされ候  
てもよろしき様の御  
話し聞及び候ひしが  
右はもはや他へ御取  
定めなされ候や未  
だ御決定にも至らず  
候はゞ思召しの入附  
にて御引受け申した  
き旨申し聞け候も  
のこれあり候間御

(せせ)

頃 ○先日 ○先刻 ○先般 ○先便 ○先代 ○先君 ○先妻 ○先  
輩 ○先生 ○先哲 ○先人 ○先師 ○先父 ○先母 ○先夫 ○先妻  
○先天 ○先後 ○先考 ○先見 ○先陣 ○先導 ○先分 ○先  
例 ○先進 ○先約 ○先方 ○性質 ○性癖 ○性急 ○性  
誠心 ○誠實 ○誠實 ○少年 ○少壯 ○少憩 ○少少  
○少數 ○積年 ○積習 ○積善 ○積惡 ○積  
雪 ○切諫 ○切實 ○切迫 ○切斷 ○切腹 ○拙者 ○  
拙僧 ○拙宅 ○拙文 ○拙作 ○拙筆 ○拙劣 ○拙者 ○  
前月 ○前日 ○前代 ○前兆 ○前表 ○前程 ○前栽

二六二

都合如何 伺ひ上げ  
候草々  
○交際に付き忠  
告する文  
拜啓愈々御精勤賀  
し奉り候備て昨日參  
堂の節 席上にて御  
目に懸り候某氏は貴  
下昨 今の御交際と  
相見え候然るに同人  
ことは小生知己の某  
家に於て何々の事に

(せせ)

前篇 ○前文 ○前書 ○前條 ○前言 ○前金 ○前納 ○前  
面 ○誓言 ○誓文 ○誓約 ○政體 ○政權 ○政  
治家 ○政客 ○政黨 ○政談 ○燒失 ○燒亡 ○燒香  
○燒酎 ○正人 ○正則 ○青年 ○青陽 ○青樓 ○急込 ○  
急立 ○折檻 ○折教 ○全國 ○全村 ○全體 ○全身 ○全篇 ○全  
文 ○全燒 ○全盛 ○全然 ○全山 ○全軍 ○全權 ○千歲 ○千  
萬 ○贅言 ○贅物 ○贅澤 ○征討 ○征伐 ○晴嵐  
○蕭然 ○蕭條 ○善惡 ○善人 ○善根 ○善政  
○戰爭 ○戰國 ○戰功 ○戰線 ○戰沒 ○戰慄 ○世話

二六三







(せせ)

取り敢へず略簡に  
て申上げ候勿々敬具

○返詞

拜誦昨日は折角  
御枉賀下され候處  
何の風情もこれなく  
定めし御不興に渡り  
候事幾重にも御寛  
恕下され度候借て御  
歸館の後席上にパ  
イブ遣却これあり定  
めし尊君の品と存候

ま御使に托し差  
上げ候餘は拜顔に讓  
る頓首

○使の眞偽を尋

ぬる文

只今貴家の名義に  
て十八九歳の面體見  
馴れざる職人體の  
もの一名参り自轉車  
一兩日借受けたき  
旨申し聞え候右は全  
く貴家の御使に相違

(すす)

二六六

食○小春○精力○清凉○絶食○絶頂○席上  
○席順○消却○消極○消光○消長○先  
達○先住○性理學○誠忠○積極○前借○前略○前同  
○誓願○政略○正直○青春○折衷○全快○  
全勝○勢力○勢揃○善良○善後策○戰術○戰略○  
戰場○世間並○専門家○請願○照會○照準○  
咳拂○雪中○殺生○宣教師○攻上○線上○船中○船  
長○仙境○脆弱○省略○悽愴○  
生物学○小學校○先先月○先般來○先入主○  
千秋樂○善哉餅○世間話○選舉人○生殺の權○生殺

與奪○前代未聞○前文御免○全權公  
使○千辛萬苦○清廉潔白○絶體絶命○政談演  
說○青天白日○千秋萬歲○千篇一律○  
○千變萬化○善男善女○世襲財產○整整  
堂堂○千客萬來○千慮一失○青雲  
志

「す」「ず」の部

○酢○巢○數○數寄○數度○住み○末○捨て○助け  
○据ゑ○摺り○素手○擦り○好き○酢煮○煤○裾○

二六七



(すず)

これなく候ふ哉聊か  
不寐につき同人待た  
せおき伺上げ候否  
や御一報待上げ候

○來訪を断る文

御狀拜見明日御  
光來の趣き是非御  
待ち申上げたき次第  
に候へども生憎常  
日は先約これあり他  
所に出張致すべく  
に付き遺憾ながら明

二六八

筋○吸ひ○隅○棄て○漉さ○梳さ○鋤さ○過ぎ○酸く  
○誦し○滌ぎ○拗ね○靡○澄み○圓寸時○寸暇しとのすて  
○寸志○寸地○數奇○數字○數里○水氣○水路○  
水師○水死○水夫○水手○水利○住ひ○住居○住家  
○捨直○助手○墨繪○推歩○隨喜○隨意○  
隨時○透し○透見○透間○素足○素肌○素面○素顔○  
素見○坐り○衰微○醉煎○醉醞○醉味○醉  
漬○筋目○砂地○吸り○涼み○巢ひ○巢立○相撲○捕  
餌○搗肉○樞機○直に○棄子○炭火○姿○眇○縋り  
○宿世○救ひ○抄ひ○竦み○選り○勝れ○凄く○荒

(すず)

日の所は御免を被  
り候様御願ひ申上げ  
候不日閑暇の折を以  
て緩々御來駕戴き  
度迫て弊方より申  
上ぐべく候間左様御  
了知願上げ候敬具  
○寫眞を贈る文  
一別以來意外の御疏  
遠に打過ぎ居り懈謝  
この事に候倍小生  
此程知友間に配附

び○遊び○進み○納涼○勸め○廢り○總て○迂り○窄  
み○濟し○鯛○揣摩○既に○荒○翫○誰  
何○寸土○寸陰○寸隙○寸斷○寸分○寸學○數  
寸寸○寸白○寸功○寸鐵○寸法○數月○數日○數人○數枚○數通○數冊○數頭○數  
年○數種○數間○水面○水分○水源○水勢○水軍○水  
匹○數種○數間○水面○水分○水源○水勢○水軍○水  
戰○水葬○水旱○水害○水難○水平○水練○水魚  
○水腫○住込○住馴○末末○末迄○末成○捨賣○  
捨鞭○捨扶持○捨置○助勢○助太刀○墨色○墨書○墨  
付○醉人○醉漢○醉倒○摩合○摩脫○摩寄○推察

三六九







書簡文用語辭典 (終)

書翰文用辭語典附

明治四十四年十月十日印刷  
明治四十四年十月廿三日發行

不許複製

發行所

著者 木村小舟

東京市神田區裏神保町六番地  
國文館代表者

發行者 高岡安太郎

東京市牛込區水道町二十五番地

印刷者 福山福太郎

東京市牛込區水道町二十五番地

印刷所 福山印刷製本所

東京市神田區裏神保町六番地

國文館



訂校生先伴露田幸士博學文

# 傳犬八見里總南

## 卷 八 全

●入箱製美金天形トツケボ裝洋●

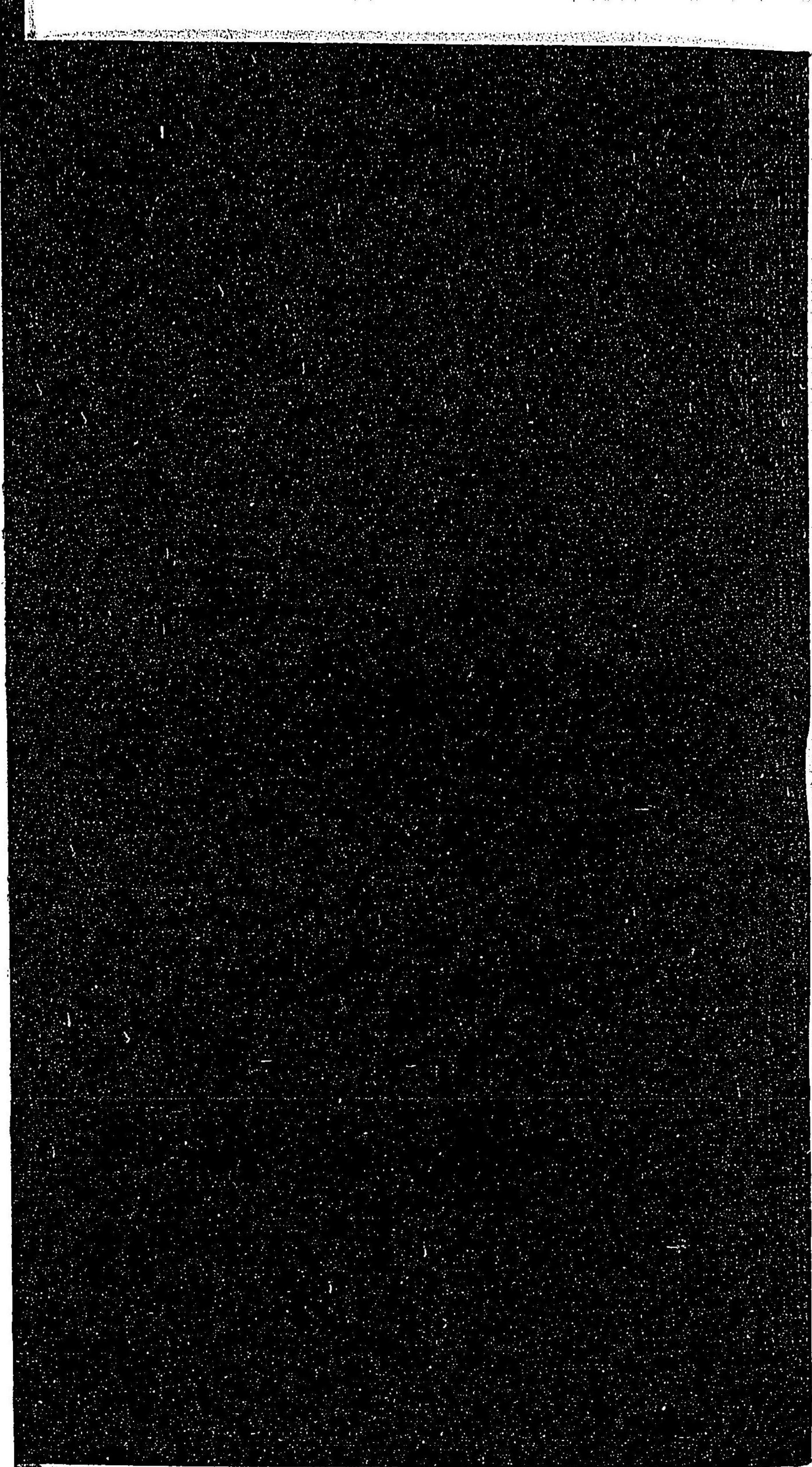
●錢八金税郵册一各●錢拾六金價定册一各●

馬琴が我江戸文學の代表的人物にして其著  
八犬傳が又代表的作物たるは言を俟ざる所  
なり。本書は實に幸田露伴先生の嚴密正確  
なる校訂を經原文と一字一句の相違なく之  
を其儘活字に組みしもの。而して加ふるに  
全八册各壹部毎に現代文學界及び美術界大  
家の手になれる序文と口書を以てす、裝幀  
又美、携帶便、誠に近時出版界の一大偉觀  
たり、讀者本書を座右に備へられんことを  
勸む



266  
583







301352-001-4

特71-769

書翰文用語辞典

木村 小舟 / 編

M44. 10

DAC-0001

